

EPSON

マルチメディア・プロジェクター

M PROJECTOR
ULTRA MEDIA

取扱説明書

ELP-820
ELP-811
ELP-600

お使いになる前に

保証書別添

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
本製品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

MULTIMEDIA

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方



本機の説明書は、次の3冊で構成されています。各説明書の分冊構成は、次のとおりです。

- 取扱説明書（本書）
本機を使い始めるまでの準備や基本操作、設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。
- 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
本製品を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。
- クイックリファレンスガイド
本機の最も一般的な機能を、すぐに見られるようにまとめてあります。常にプロジェクターのそばに置き、プレゼンテーションを始める前や、途中で操作を確認したくなったときにご覧ください。





説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

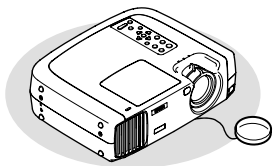
 注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。● P.96
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(ボタン名)]	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例： [Esc]
[(メニュー名)]	設定メニューの項目を示しています。 例： 「映像」 - 「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

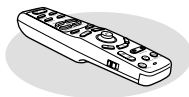
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかには付属品や別売品も含まれる場合があります。

同梱品の確認

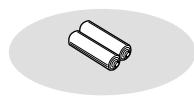
下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。



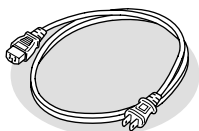
プロジェクター本体
(ひも付きレンズカバー付属)
ご購入時は、リアフット部に
パッキンを取り付けてありま
す。使用時は取り外してくだ
さい。



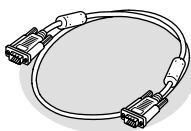
リモコン



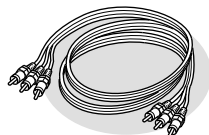
単3形マンガン乾電池
(2本)
リモコンにセットして使い
ます。



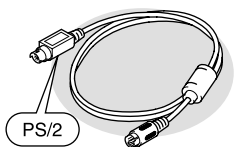
電源ケーブル
(日本国内用 3m)
本機と電源コンセントを接続
します。



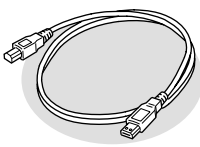
コンピュータケーブル
(ミニ D-Sub15pin/
ミニ D-Sub15pin 1.8m)
本機とコンピュータを接続
するときに使います。



A/V ケーブル
(赤 / 白 / 黄色 1.8m)
本機とビデオ機器を接続す
るときに使います。



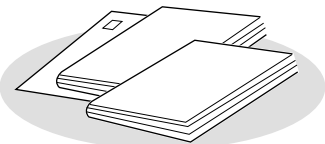
PS/2 マウスケーブル
(1.8m)
PS/2 マウス端子のあるコン
ピュータと接続し、ワイヤレ
スマウス機能を使う場合に使
います。



USB ケーブル
(1.8m)
USB 端子のあるコンピュータ
と接続するときに使いま
す。

ドキュメント類

安全にお使いいただくために /
サポートとサービスのご案内
取扱説明書 (本書)
クイックリファレンスガイド
お客様情報 + 正式保証書発行カード



本機の特長

タテヨコ台形補正機能

台形にゆがんだ映像を、簡単に補正できます。

垂直(縦)方向だけでなく水平(横)方向のゆがみについても補正できます。

これにより、斜め横から写した映像もきれいに投写できます。

● P. 46

カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。● P. 63, 65

- ・ sRGB
- ・ ノーマル
- ・ ミーティング
- ・ プレゼンテーション
- ・ シアター
- ・ ゲーム

操作が簡単

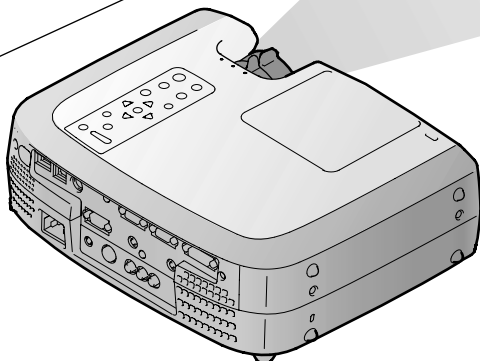
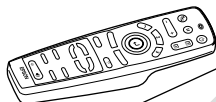
付属のリモコンを使い、投写映像を停止する(フリーズ ● P. 55)、大切な部分をズームアップする(Eズーム ● P. 57)などの操作ができます。投写中のコンピュータ画面のポインタ操作や、投写映像を次ページに進めるなどの操作も、リモコンで行えます。

(ワイヤレスマウス機能 ● P. 26)。

USB接続でワイヤレスマウス機能を使うと、Power Pointの文書をプレゼンするとき、リモコンで次ページ送り、前ページ戻しが行えます。

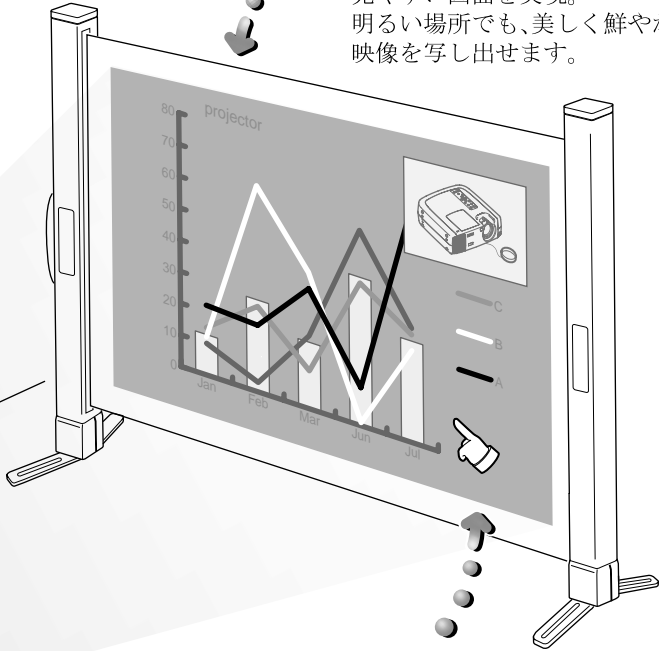
小型で軽量

A4ファイルサイズ
(274(D) × 348(W) × 104(H) mm)、
軽量(約4.2kg)なコンパクト
ボディで、持ち運びも楽々。



美しく鮮明な映像

小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を写し出せます。



プレゼンテーション支援機能

重要なポイントをポインタで指し示す、スタンプを配置する、ラインを描画するなどの「エフェクト機能」により、効果的なプレゼンテーションをサポートします。

● P. 58

ピクチャー イン ピクチャー機能

コンピュータの映像とビデオの映像を1画面で投写できます。コンピュータ画面に子画面で動きのあるビデオ映像を写し出して、プレゼンテーションの説得力を高めることができます。

● P. 60

目次

同梱品の確認	1
本機の特長	2

使い始めるまでの準備

各部の名称と働き	8
前面 / 上面	8
本体操作パネル	9
背面	10
底面	11
リモコン	12
リモコンをお使いになる前に	13
電池のセット	13
電池の交換時期	13
リモコンの使い方と操作範囲	14
リモコン取り扱い上の注意	15
本機の設置	16
設置方法	16
スクリーンサイズと投写距離	18
コンピュータとの接続	19
接続できるコンピュータ	19
コンピュータの映像を写す	20
コンピュータの音声を出す	24
リモコンでマウスポインタを操作する	26
外部モニタとの接続	28
ビデオ機器との接続	29
コンポジット映像を写す	29
S ビデオ映像を写す	30
コンポーネント映像を写す	31
RGB ビデオ映像を写す	32
BS デジタルチューナの映像を写す	34
外部スピーカから音声を出す	35

基本操作編

電源を入れ投写しよう	38
電源ケーブルを接続しよう	38
電源 ON、投写開始	39
電源を切り終了しよう	41


投写画面の調整	43
投写サイズの調整	43
投写角度の調整	44
台形にゆがむ場合の補正	46
画質の調整	48
ピントを合わせる	48
コンピュータ映像の調整	48
音量の調整	51

応用編

投写を効果的にする機能	54
機能一覧	54
機能の詳細	54
設定メニューの機能と操作	62
機能一覧	62
メニューの操作	73

付 録

困ったときに	76
ヘルプの見方	76
故障かなと思ったら	78
インジケータを見てわからないとき	81
お手入れの方法	87
各部の掃除	87
消耗品の交換	89
ユーザーロゴの登録	93
オプション品一覧	95
用語解説	96
ESC/VP コマンド一覧	98
コマンドリスト	98
通信プロトコル	99
USB 通信の準備	99
ケーブル配線	100
対応解像度一覧	101
仕様一覧	102
外形寸法図	103
索引	104



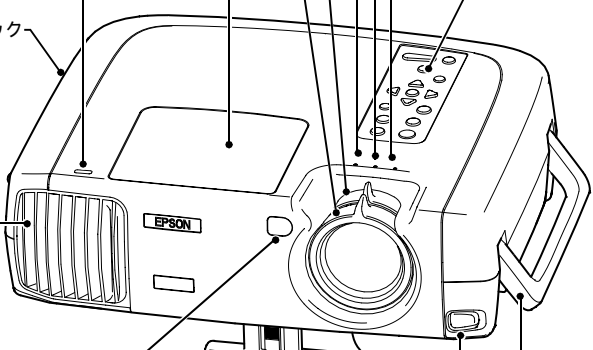
使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。


各部の名称と働き	8
リモコンをお使いになる前に	13
• 電池のセット	13
• 電池の交換時期	13
• リモコンの使い方と操作範囲	14
• リモコン取り扱い上の注意	15
本機の設定	16
• 設置方法	16
• スクリーンサイズと投写距離	18
コンピュータとの接続	19
• 接続できるコンピュータ	19
• コンピュータの映像を写す	20
• モニタ端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合	20
• モニタ端子がデジタル RGB 端子の場合	21
• モニタ端子が 5BNC 端子の場合	22
• モニタ端子が 13w3 端子の場合	23
• コンピュータの音声を出す	24
• リモコンでマウスポインタを操作する	26
• 外部モニタとの接続	28
ビデオ機器との接続	29
• コンボジット映像を写す	29
• S ビデオ映像を写す	30
• コンポーネント映像を写す	31
• RGB ビデオ映像を写す	32
• BS デジタルチューナの映像を写す	34
外部スピーカから音声を出す	35

各部の名称と働き

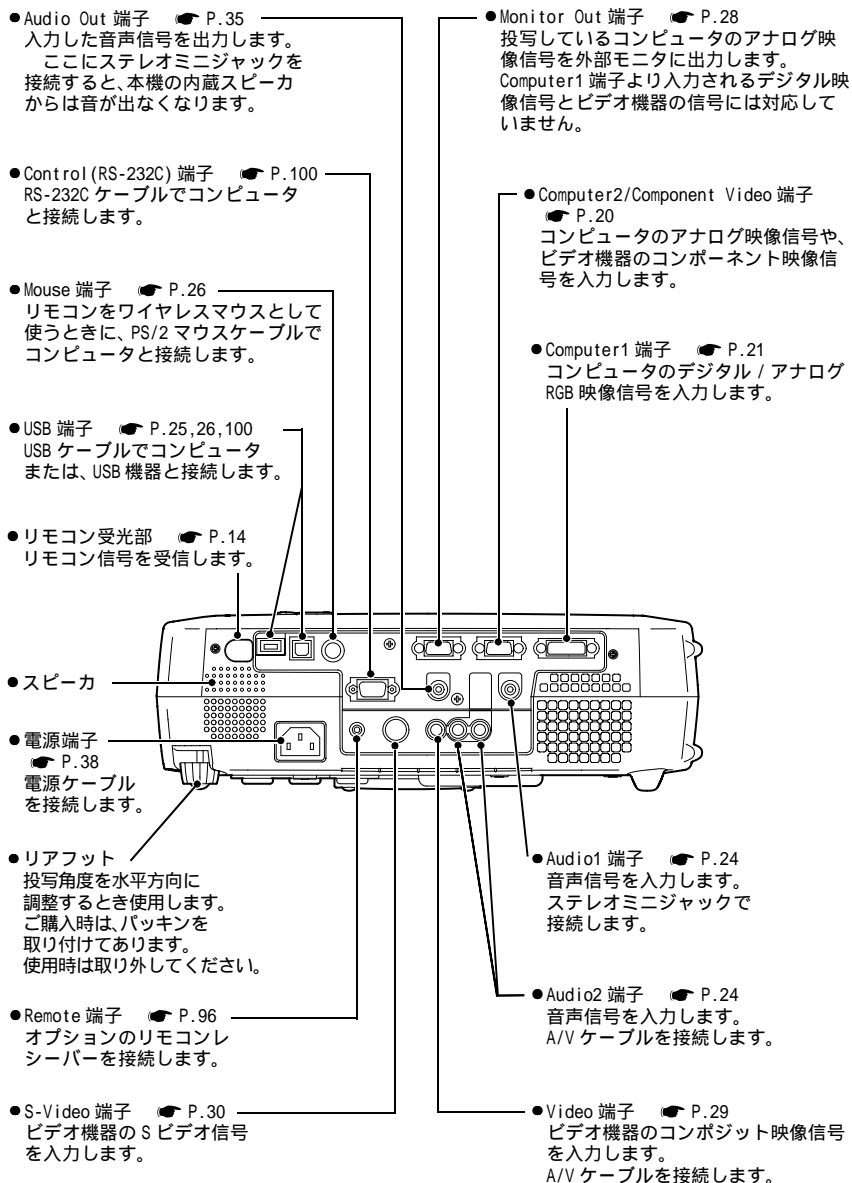
前面 / 上面

- 
- **ズームリング** ● P. 43
投写映像のサイズを調整します。
 - **フォーカスリング** ● P. 48
投写映像の焦点を合わせます。
 - **ランプカバー** ● P. 90
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
 - **ランプカバー開スイッチ** ● P. 90
ランプカバーを取り外すときにこのスイッチをスライドしてロックを外します。
 - **盗難防止用ロック** (🔒) ● P. 97
 - **排気口**
 - **リモコン受光部** ● P. 14
リモコン信号を受信します。
 - **フロントフット** ● P. 44
投写角度を調整するときに伸ばします。
 - **レンズカバー**
プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。
 - **温度インジケータ** ● P. 78
プロジェクター内部の温度異常などを示します。
 - **ランプインジケータ** ● P. 78
投写ランプの異常や交換時期などを示します。
 - **オーバーレションインジケータ** ● P. 78
プロジェクターの動作状態を色や点滅・点灯状態で示します。
 - **操作パネル** ● P. 9
 - **ハンドル**
本プロジェクターを持ち運ぶ際は、このハンドルを持って移動します。
 - **フットボタン** ● P. 44
このボタンを押したままプロジェクターを持ち上げ、フロントフットの引き出し、微調整、収納を行います。

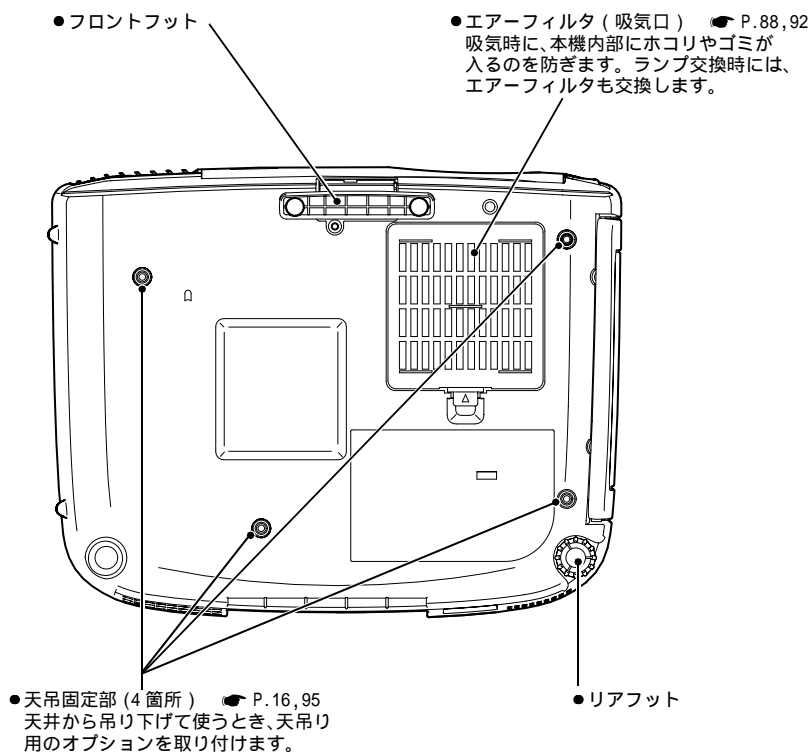
本体操作パネル

-
- [電源] ボタン ● P.39
電源を ON/OFF するときに押します。
 - [ヘルプ] ボタン ● P.76
トラブルが起こったときの対処方法を表示するときに押します。
 - [コンピュータ/色差] ボタン ● P.40
押すたびに Computer1 端子と Computer2/Component Video 端子の入力ソースを切り替えます。
 - [ビデオ] ボタン ● P.40
押すたびに Video 端子と S-Video 端子の入力ソースを切り替えます。
 - [メニュー] ボタン ● P.73
押すたびにメニューを表示 / 終了します。
 - [Esc] ボタン ● P.74
実行中の機能を終了するときに押します。メニューやヘルプを表示中は1つ上の階層に戻ります。
 - [垂直台形補正] ボタン ● P.46
投写画面が垂直 (縦) 方向に台形にゆがんだときに押します。
[シフト] ボタンを押したまま、このボタンを押すと、コンピュータの映像のトラッキングを調整できます。
 - [水平台形補正] ボタン ● P.46
投写画面が水平 (横) 方向に台形にゆがんだときに押します。
[シフト] ボタンを押したまま、このボタンを押すと、コンピュータの映像のトラッキングを調整できます。
 - [自動同期] ボタン ● P.48
コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。設定メニューやヘルプが表示されているときは、 として働きます。メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。
 - [シフト] ボタン ● P.49, 50
このボタンは単体では機能しません。このボタンを押したまま各 [台形補正] ボタンを押すとオレンジ色で表記されている機能 (同期・トラッキング) が働きます。
 - [リサイズ] ボタン ● P.43, 56
投写サイズを切り替えます。
 - [A/Vミュート] ボタン ● P.54
映像と音声を一時的に消します。
 - [音量] ボタン ● P.51
音量を調節します。

背面



底面



リモコン

-
- リモコン発光部 ● P.14
リモコン信号を出力します。
 - [Power] ボタン ● P.39
プロジェクターの電源を ON/OFF します。
 - []/[] ボタン ● P.26
プロジェクターとコンピュータが USB 接続されている場合、USB キーボードの []/[] キーと同様に動作します。
 - [Freeze] ボタン ● P.55
映像を一時停止します。
 - [A/V Mute] ボタン ● P.54
映像と音声を一時的に消します。
 - R/C スイッチ ● P.14
リモコンの電源を ON/OFF します。
 - [E-Zoom] ボタン ● P.57
投写サイズは変えずに、映像を拡大 / 縮小します。
 - [Enter] ボタン ● P.27,73
ボタンを傾けると、傾けた方向にポインタが移動します。メニュー表示中に押した場合は、メニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
 - エフェクトボタン ● P.58
次のように、装飾（エフェクト）機能が割り当てられています。
[1] : ポインタ / スタンプ
[2] : スポットライト
[3] : バー
 - [Right]/[Esc] ボタン ● P.27,74
実行中の機能を終了します。メニューやヘルプ表示時には1つ上の階層に戻ります。ワイヤレスマウスとして使用するときには、マウスの右クリックとして機能します。
 - [Left] ボタン ● P.26
ワイヤレスマウスとして使用するときには、マウスの左クリックとして機能します。
 - [Help] ボタン ● P.76
トラブルが起こったときの対処方法を表示します。
 - [Menu] ボタン ● P.73
メニューを表示 / 終了します。
 - [Source] ボタン ● P.40
[Comp1] : Computer1 端子からの映像に切り替えます。
[Comp2/YCbCr] : Computer2/Component video 端子からの映像に切り替えます。
[S-Video] : S-Video 端子からの映像に切り替えます。
[Video] : Video 端子からの映像に切り替えます。
 - [Auto] ボタン ● P.48
コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。
 - [P in P] ボタン ● P.60
ピクチャー イン ピクチャー機能を実行します。
 - [Volume] ボタン ● P.51
音量を調節します。
 - [Resize] ボタン ● P.43,56
投写サイズを切り替えます。
 - [Preset] ボタン ● P.63
あらかじめ登録してあるコンピュータ映像の解像度を選択します。

リモコンをお使いになる前に

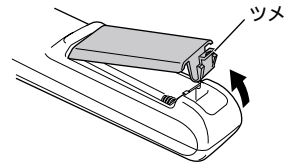
電池のセット

購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、添付の乾電池をセットします。

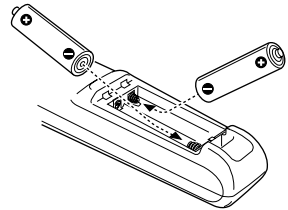
電池を取り扱う際は、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、電池取り扱い上の注意を確認してから行ってください。

操作

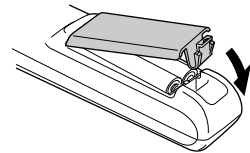
- 1 電池カバーをはずします。
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



- 2 電池をセットします。
電池ホルダ内の(+)(-)の表示を確認し、電池の向きを間違えないようにセットします。



- 3 電池カバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



電池の交換時期

リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は、電池の寿命が考えられます。電池を新しいものと交換してください。

電池交換時期の目安：1日30分使用した場合で約6ヶ月

ただし、この期間は使用状態や使用環境により変化します。

交換用の電池は、次のものをご用意ください。

単3形マンガン乾電池×2本

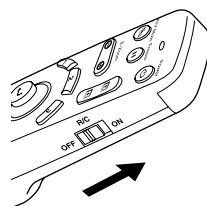
リモコンの使い方と操作範囲

使い方

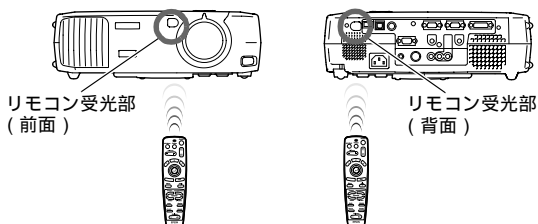
リモコンの使い方は次のとおりです。

操作

- 1 リモコンの R/C スイッチを ON にします。



- 2 リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。



ポイント

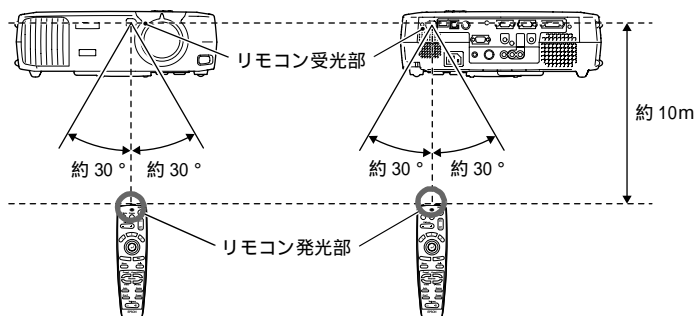
- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。
- 使い終わったら、リモコンのR/CスイッチをOFFにします。ONのままだと電池が消耗します。

操作範囲

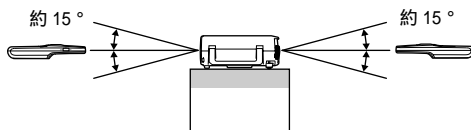
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作できません。

操作可能距離	操作可能範囲
約 10m	左右約 30° 上下約 15°

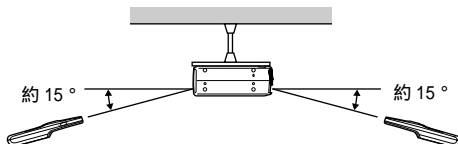
左右約 30°



上下約 15°



天吊りの場合



ポイント

離れた位置から、確実にリモコンで操作したい場合は、オプションの「リモコンレシーバー」をお使いください。

● 「付録 オプション品一覧」 P.95

リモコン取り扱い上の注意

故障や誤動作、破損の原因となりますので、次の注意事項を必ず守ってください。

- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- リモコンに水などの液体をかけないでください。
万一、濡れた場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
乾電池が液漏れを起こすことがあります。
- リモコンでしか操作できない機能もあります。なくさないようにプロジェクター本体と一緒に保管してください。

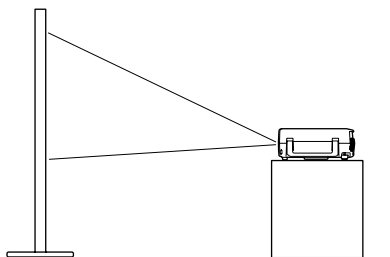
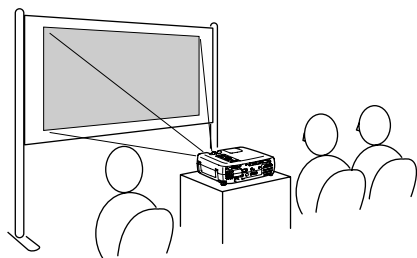
本機の設置

設置方法

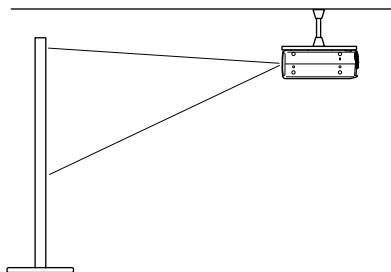
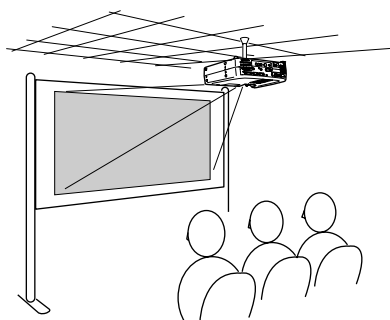
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、設置上の注意を確認してから行ってください。

- 正面から投写する

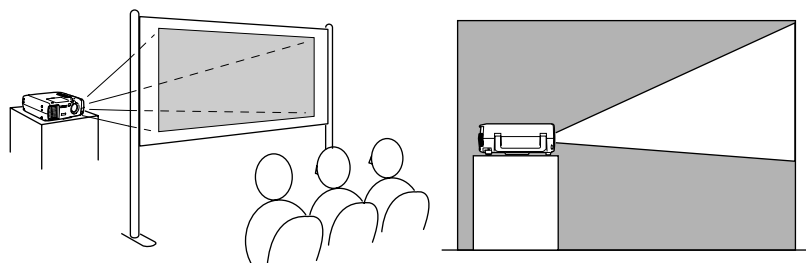


- 天吊りして正面から投写する

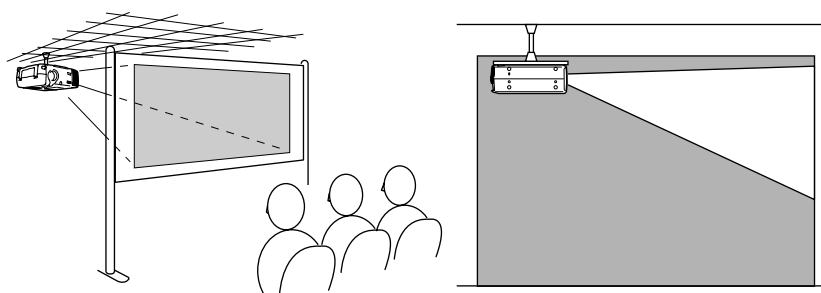


天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。

- 半透過性のスクリーンへ裏側から投写する



- 天吊りして半透過性のスクリーンへ裏側から投写する



天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。

スクリーンサイズと投写距離

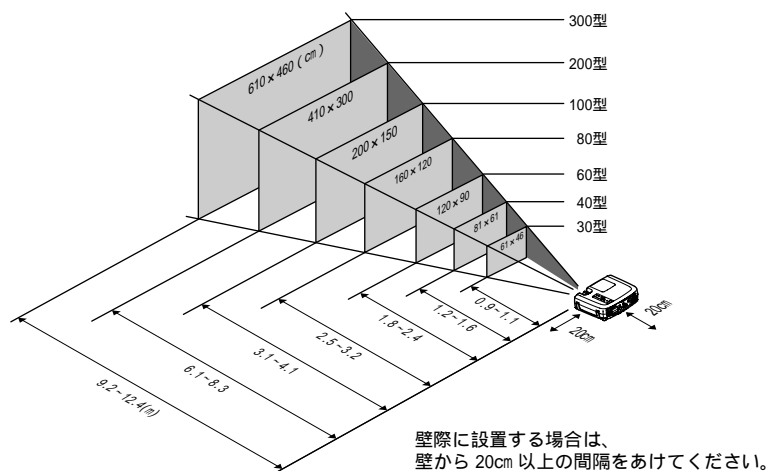
本プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

推奨距離範囲	0.9m ~ 12.4m
--------	--------------

下表を参考にして、画面サイズがスクリーンより小さくなるように設置してください。

スクリーンサイズ (cm)	おおよその投写距離 (m)
30型 (61 × 46)	0.9 ~ 1.1
40型 (81 × 61)	1.2 ~ 1.6
60型 (120 × 90)	1.8 ~ 2.4
80型 (160 × 120)	2.5 ~ 3.2
100型 (200 × 150)	3.1 ~ 4.1
200型 (410 × 300)	6.1 ~ 8.3
300型 (610 × 460)	9.2 ~ 12.4

距離の値は設置の目安にしてください。投写条件により、変わる場合があります。



- 本機のレンズは約 1.35 倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約 1.35 倍のサイズで投写できます。
- 台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。

コンピュータとの接続



注意

コンピュータを接続する際は、次の点を確認してください。

- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- 条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること
コンピュータに「RGB 端子」「モニタ端子」「CRT 端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。
コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかつたり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目をご覧ください。
- 条件2：接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること ● 「付録 対応解像度一覧」P.101
コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり、対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。

コンピュータの映像を写す

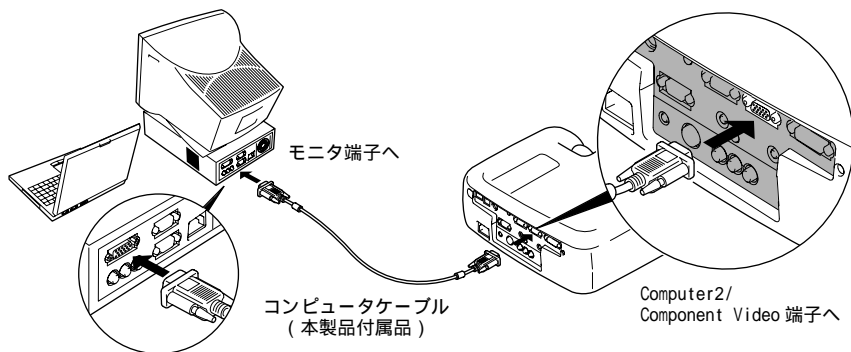
コンピュータのモニタ端子の形状や規格により、本機側の接続端子や使用するケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

モニタ端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合

コンピュータのモニタ端子と、本機背面の Computer2/Component Video 端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。

アナログ RGB 出力のコンピュータを本機に 2 台接続する場合は、本機背面の Computer1 端子と 2 台目のコンピュータのモニタ端子をオプションの DVI アナログケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95

Computer2/Component Video 端子に接続する場合



ポイント

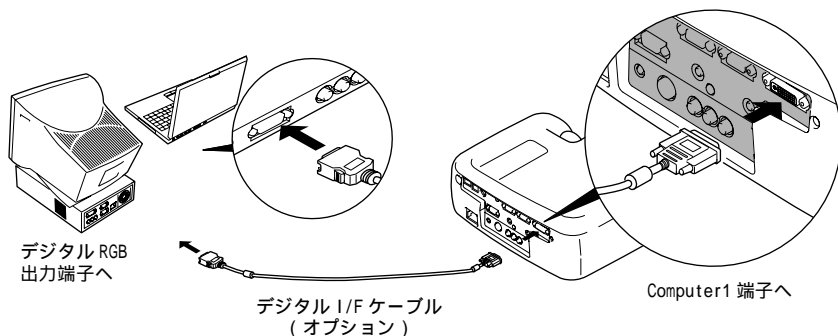
- 接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛P.69
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類が必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- Macintosh と接続するには、市販のアダプタが必要な場合があります。
- コンピュータと本機が離れて設置されており、付属品のケーブルでは届かないときや、UXGA の解像度でコンピュータの映像を投写したいときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。
☛「付録 オプション品一覧」P.95

モニタ端子がデジタル RGB 端子の場合

コンピュータに DVI▶▶、または DFP▶▶規格準拠のデジタルビデオカードやビデオ出力端子が搭載されている場合は、コンピュータのモニタ端子と本機背面の Computer1 端子を、オプションのデジタル I/F ケーブルで接続します。

接続するケーブルは、コンピュータのモニタ端子の規格により異なります。

☛ 「付録 オプション品一覧」 P.95

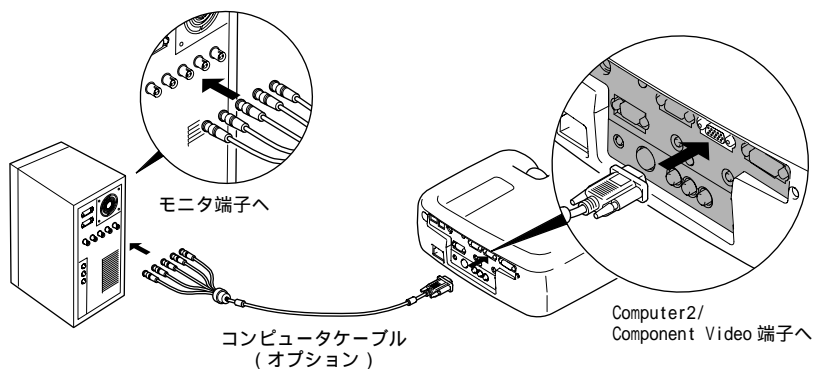


ポイント

- コンピュータの出力をデジタルRGBに切り替えるには、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくは、コンピュータに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 同時に、ミニ D-Sub 15pin 出力端子のコンピュータを接続する場合は、Computer2/Component Video 端子にミニ D-Sub 15pin 出力端子のコンピュータを接続します。
- 接続後、メニューの「設定」 - 「Comp1 入力」で「Digital-RGB」に設定します。☛ P.69

モニター端子が 5BNC 端子の場合

コンピュータのモニター端子と、本機背面の Computer2/Component Video 端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。☛「付録 オプション品一覧」P.95

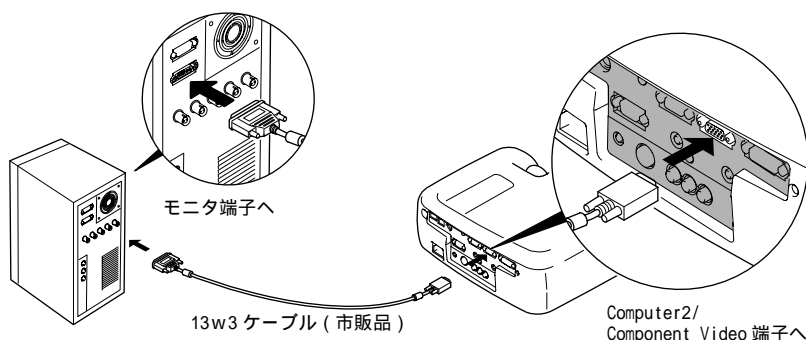


- 接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛P.69
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

モニタ端子が 13w3 端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニタ端子が 13w3 端子の場合があります。

コンピュータのモニタ端子と本機背面の Computer2/Component Video 端子を市販の 13w3 D-Sub15 ケーブルで接続します。



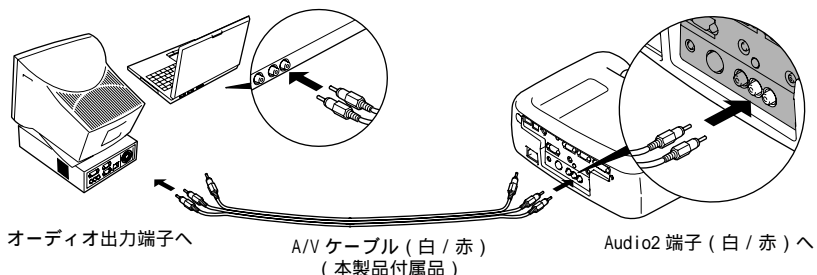
ポイント

- 接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で「Analog-RGB」に設定します。▶ P.69
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルと一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

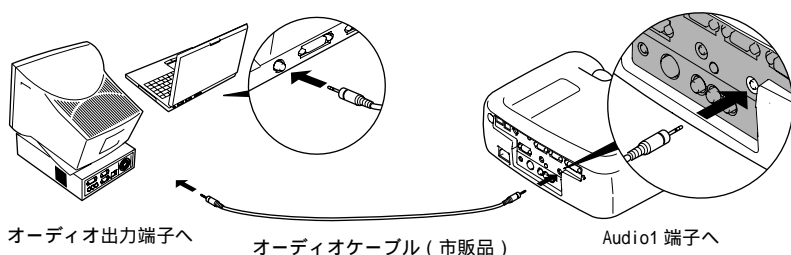
コンピュータの音声を出す

本機には、最大 5W のスピーカが 1 個内蔵されています。音声出力端子を持つコンピュータの音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、次の3通りの方法で接続できます。コンピュータのオーディオ出力端子の形状やお手持ちのケーブルによって使い分けます。

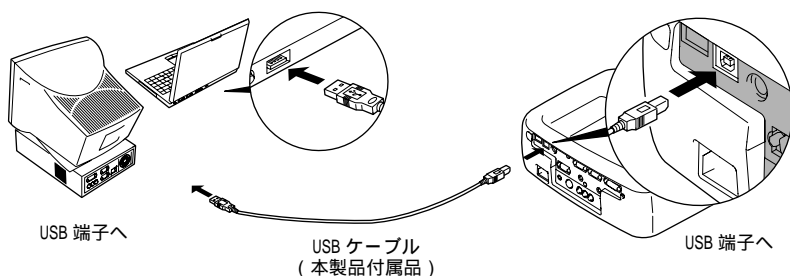
- コンピュータのオーディオ出力端子と本機背面のAudio 2端子 (RCAジャック)を、同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。



- コンピュータのオーディオ出力端子と本機背面のAudio 1端子 (ステレオミニジャック)を、市販のオーディオケーブルで接続します。オーディオケーブルは3.5 ステレオミニピンケーブルのものを推奨します。



- 音声を USB へ出力できるコンピュータの場合、コンピュータの USB 端子と本機背面の USB 端子を、同梱の USB ケーブルで接続します。



ポイント

- 接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。▶ P.66
- 本機に外部スピーカを接続して音声を出力することもできます。▶ P.35
- USB ケーブルでの接続は、USB 標準搭載モデルにのみ対応しています。Windows の場合は、Windows98/2000/Me プリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードした Windows98/2000/Me 環境下では動作を保証いたしません。Macintosh の場合は、OS9.0 ~ 9.1 に対応しています。Windows/Macintosh ともに OS のバージョンにより USB オーディオ機能を使用できない場合があります。
- USB 経由でコンピュータの音声を出す場合は、コンピュータ側で設定を切り替える必要があります。詳しくはコンピュータに添付の取扱説明書をご覧ください。

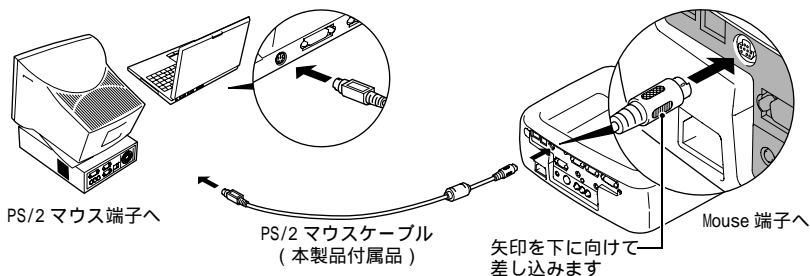
リモコンでマウスポインタを操作する

コンピュータのマウス端子と本機背面の Mouse 端子または USB 端子をマウスケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、コンピュータのマウスポインタを、リモコンで操作できます。

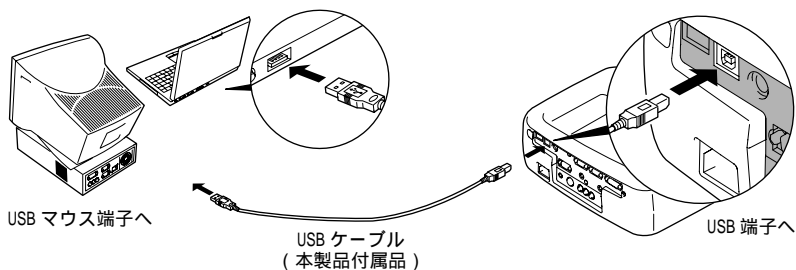
コンピュータ	使用しているマウスの種類	使用するケーブル
Windows	PS/2 マウス	PS/2 マウスケーブル (同梱品)
	USB マウス	USB ケーブル (同梱品)
Macintosh (OS 8.6 ~ 9.1)	USB マウス	USB ケーブル (同梱品)

PS/2 マウスの接続例

プロジェクターとコンピュータの電源を切った状態で接続してください。電源が入った状態で接続すると、誤動作や故障の原因となります。



USB マウスの接続例





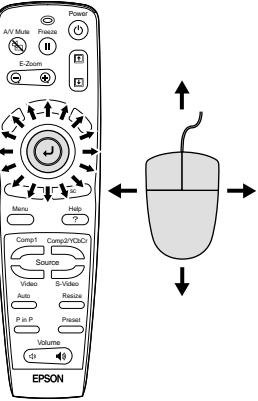
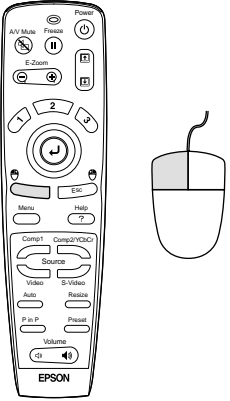
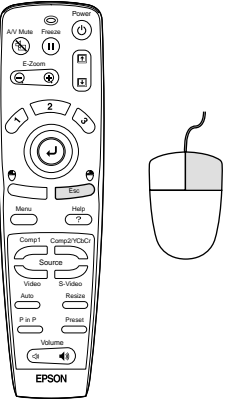
USB 接続した場合は、リモコンの [] [] ボタンが機能するようになります。PowerPoint ファイルを投写中、このボタンでページ送り / 戻しをすることができます。



ポイント

- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。Windowsの場合は、Windows98/2000/Me プリインストールモデルだけに
対応しています。アップグレードした Windows98/2000/Me 環境下では
動作を保証いたしません。
Macintoshの場合は、OS8.6 ~ 9.1に対応しています。
Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機
能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があり
ます。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- PS/2 マウスと USB マウスを同時に使うことはできません。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

<p>マウスポインタの移動 リモコンの  ボタンを傾けると、傾けた方向にマウスポインタが移動します。  ボタンは16方向に傾けることができます。</p> 	<p>左クリック [Left] ボタンを押します。</p> 	<p>右クリック [Right/Esc] ボタンを押します。</p> 
---	--	--

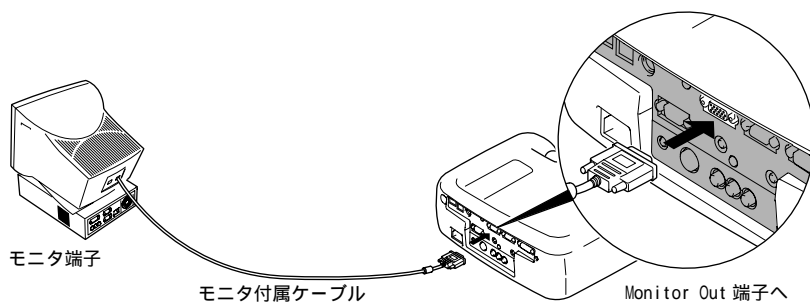


ポイント

- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 以下の機能を使用しているときは、リモコンでワイヤレスマウス機能を行えません。
 - ・メニュー表示中
 - ・エフェクト
 - ・P in Pの子画面決定前
 - ・Eズーム
 - ・映像サイズをリアル表示 (リサイズ OFF) にしたとき
 - ウィンドウ表示になる場合 (SXGA以上の解像度のとき)

外部モニタとの接続

本機の投写映像をコンピュータのモニタで、同時に表示させることができます。本機背面の Monitor Out 端子と、コンピュータのモニタを、モニタに付属のケーブルで接続します。



ポイント

- Computer1 端子より入力されるデジタル RGB 信号は、外部モニタに出力させることはできません。
- ビデオ映像は外部モニタに出力させることはできません。

ビデオ機器との接続



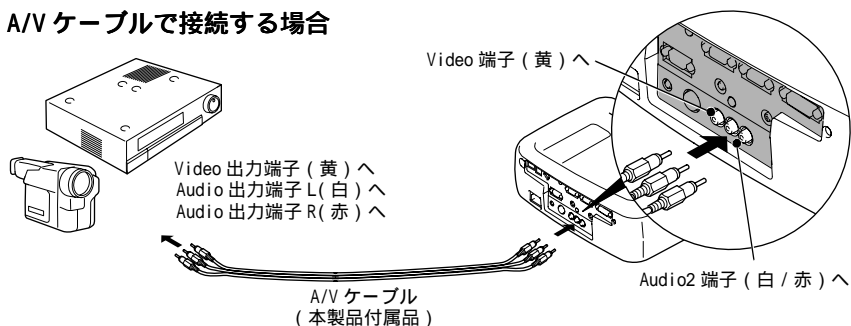
ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

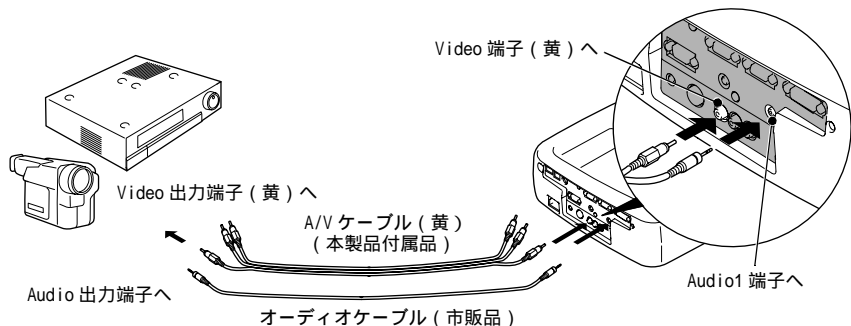
コンポジット映像を写す

- ビデオ機器と、本機背面のVideo 端子およびAudio2 端子を同梱のA/V ケーブル (赤 / 白 / 黄) で接続します。
- ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、ビデオ機器と本機背面のAudio1 端子を市販のオーディオケーブルで接続します。

A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合

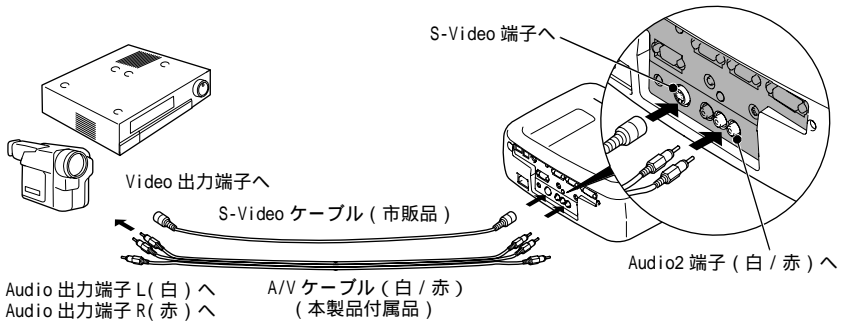


接続後は、メニューの「音声」 - 「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。初期値は「Audio2」に設定されています。

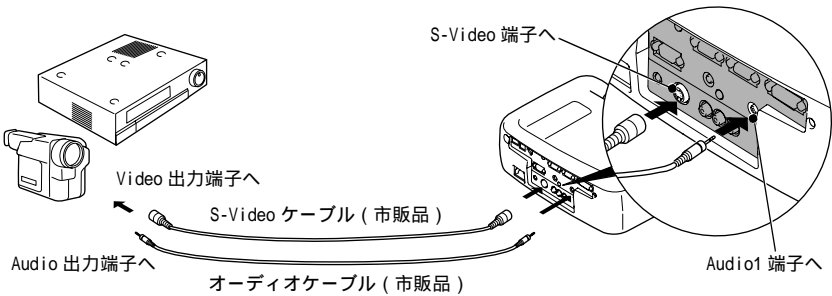
Sビデオ映像を写す

- ビデオ機器と本機背面のS-Video端子をS-Videoケーブル(市販品)で接続します。
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面のAudio2端子を同梱のA/Vケーブル(赤/白)で接続します。または、Audio1端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力をA/Vケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合

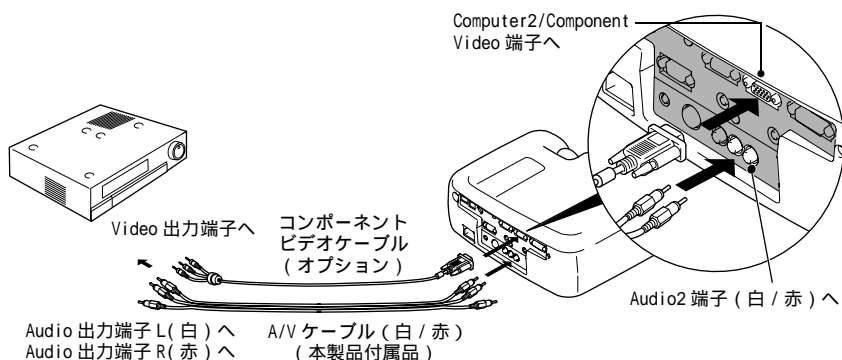


接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。初期値は「Audio2」に設定されています。

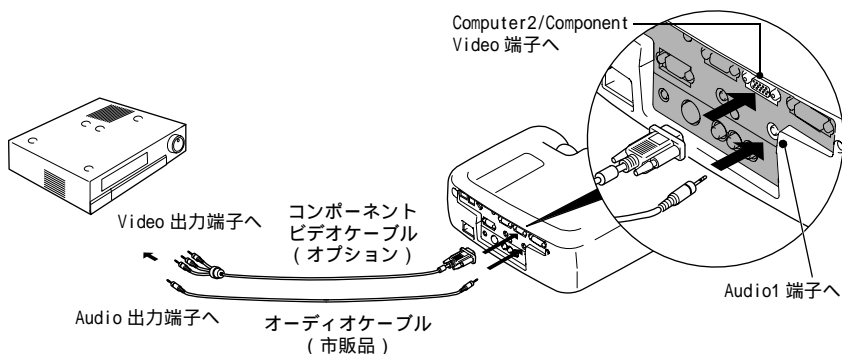
コンポーネント映像を写す

- ビデオ機器と本機背面の Computer2/Component Video 端子をオプションのコンポーネントビデオケーブルで接続します。☛ 「付録 オプション品一覧」 P.95
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面の Audio2 端子を同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。または、Audio1 端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合



ポイント

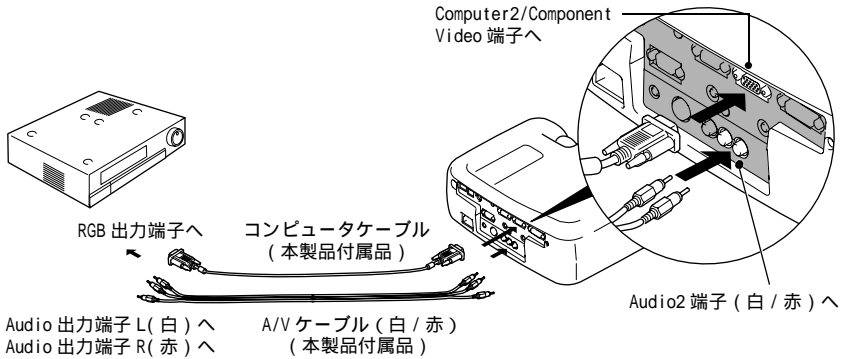
- 接続後、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr入力」で、機器の信号に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」に設定します。☛ P.69 HDTV (750P, 1125i) の場合は、設定にかかわらず YPbPr になります。
- 接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。

RGB ビデオ映像を写す

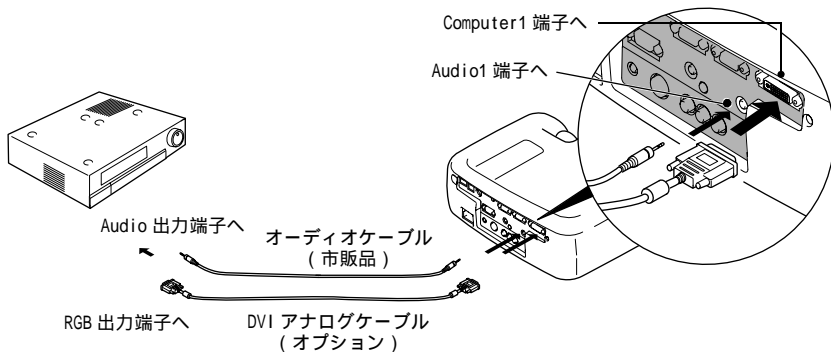
RGB ビデオは、コピーガードがかかっている RGB 信号を入力して、映像を投写する
場合に使用します。

- ビデオ機器と本機背面の Computer2/Component Video 端子を同梱のコンピュー
ターケーブルで接続します。あるいは Computer1 端子をオプションの DVI アナロ
グケーブルで接続します。● 「付録 オプション品一覧」 P.95
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面の
Audio2 端子を同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。または、Audio1 端
子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力
端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合





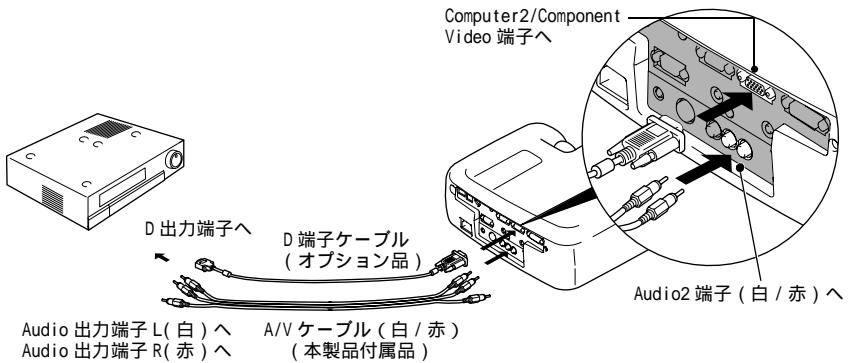
ポイント

- RGBビデオは、シンク・オン・グリーンにだけ対応しています。この状態はメニューの「情報」-「同期モード」で確認できます。
- 接続後は、メニューの「設定」-「Comp1入力」または「Comp2/YCbCr入力」で「RGB-Video」に設定します。
セパレートシンク (H シンク・V シンクが別にある) の場合は、設定を「Analog-RGB」にします。▶ P.69 この状態はメニューの「情報」-「同期モード」で確認できます。
- 接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。初期値は「Audio2」に設定されています。

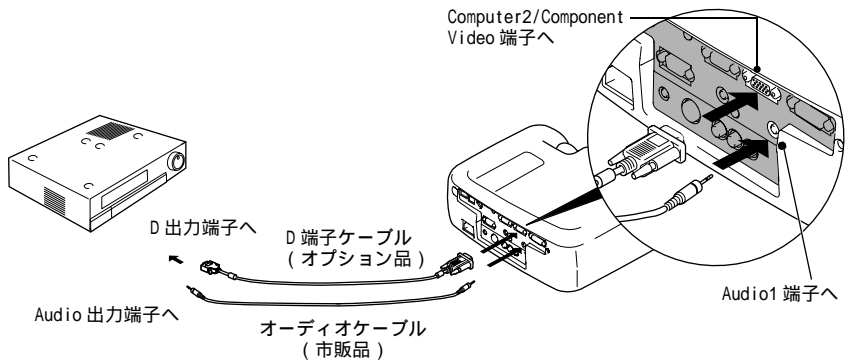
BS デジタルチューナの映像を写す

- BS デジタルチューナと本機背面の Computer2/Component Video 端子をオプションの D 端子ケーブルで接続します。☛ 「付録 オプション品一覧」 P.95
- 音声を本機の内蔵スピーカから出力する場合は、ビデオ機器と本機背面の Audio2 端子を同梱の A/V ケーブル (赤 / 白) で接続します。または、Audio1 端子を市販のオーディオケーブルで接続します。ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状やお手持のケーブルによりどちらに接続するか選びます。

音声出力を A/V ケーブルで接続する場合



ビデオ機器のオーディオ出力端子の形状がステレオミニジャックの場合



ポイント

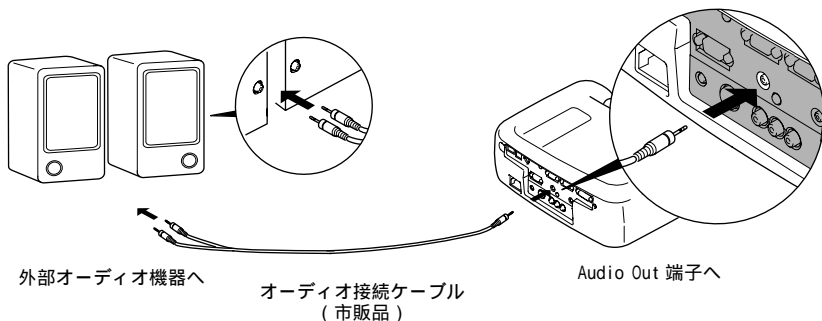
- 接続後は、メニューの「設定」-「Comp2/YCbCr 入力」で「YPbPr」に設定します。☛ P.69
- BS デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4 規格までの BS デジタルチューナに対応しています。
- 接続後は、メニューの「音声」-「音声入力」で、「Audio1/Audio2/USB」から入力する端子を選択します。

外部スピーカから音を出す

本機の Audio Out 端子と、外付けのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。

市販のオーディオ接続ケーブル（ピンプラグ） 3.5mm（ステレオミニジャック）などを使用します。

オーディオ接続ケーブルは、外部オーディオ機器の接続部の形状に合わせて購入してください。



Audio Out 端子へステレオミニジャックを差し込むと、音声は外部へ出力されます。このとき、本機の内蔵スピーカから音声は出力されません。



基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう	38
• 電源ケーブルを接続しよう	38
• 電源 ON、投写開始	39
電源を切り終了しよう	41
投写画面の調整	43
• 投写サイズの調整	43
• 投写角度の調整	44
• 台形にゆがむ場合の補正	46
画質の調整	48
• ピントを合わせる	48
• コンピュータ映像の調整	48
・ 自動調整	48
・ トラッキングの調整	49
・ 同期の調整	50
音量の調整	51

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

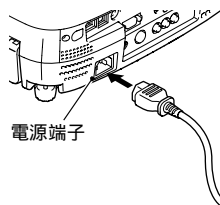
投写にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、投写上の注意を確認してから行ってください。

電源ケーブルを接続しよう

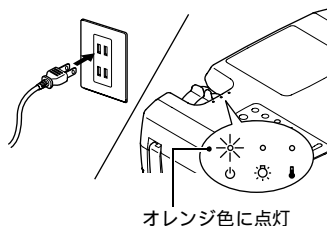
操作

- 1 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切っていることを確認します。
- 2 本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。▶ P. 19,29
- 3 レンズカバーを外します。
レンズカバー上部に指をかけて取り外します。

- 4 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込みます。



- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。



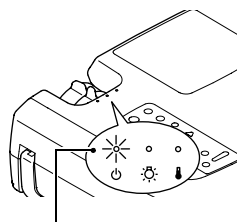
ポイント

オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作は無効となります。点灯に変わるまでお待ちください。

電源 ON、投写開始

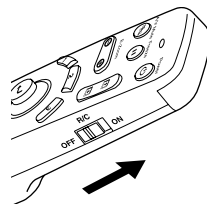
操作

- 1 本機に接続されている機器の電源を入れます。
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の [再生] や [プレイ] ボタンを押します。
- 2 オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯したのを確認します。



オペレーションインジケータがオレンジに点灯

- 3 リモコンを使用する場合は、リモコンの R/C スイッチを ON にします。



- 4 本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押し電源を入れます。
オペレーションインジケータが緑の点滅に変わり、しばらくすると投写が始まります。



本体



リモコン

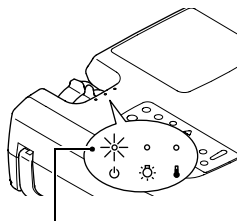
設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。●P.69

- 5 オペレーションインジケータが緑の点滅から点灯に変わるのを確認します。



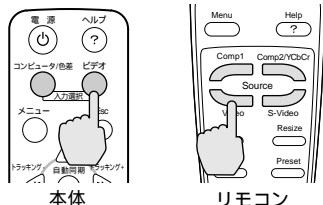
ポイント

オペレーションインジケータが緑に点滅しているときは、ボタン操作は無効です。点灯に変わるまでお待ちください。



オペレーションインジケータが緑の点滅から点灯に変わります。

- 6 複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。



接続端子	選択するボタン		画面左下の表示
	本体	リモコン	
Computer1	[コンピュータ / 色差]	[Comp1]	Computer1(Digital-RGB) Computer1(Analog-RGB) Computer1(RGB-Video)
Computer2/ Component Video		[Comp2/YCbCr]	Computer2(Analog-RGB) Computer2(RGB-Video) Computer2(YCbCr) Computer2(YPbPr)
S-Video	[ビデオ]	[S-Video]	S-Video
Video		[Video]	Video



- 接続機器が一台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。
- 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定を行ってください。
下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがありますので、静止映像は長時間投写しないでください。

電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

- 1 本機に接続している機器の電源を OFF にします。
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

- 2 本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押します。
次のパワーOFF 確認のメッセージが表示されます。



本体



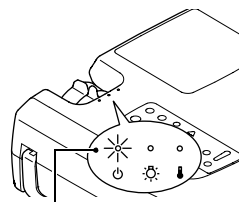
リモコン

電源を切りますか？
電源を切る場合はもう一度
Power キーを押してください。

電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。

何も操作しないと、7秒後に自動的にメッセージが消えます (電源は切れません)。

- 3 もう一度 [電源] ボタンまたは [Power] ボタンを押します。
ランプが消灯し、オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウンが始まります。



オペレーションインジケータがオレンジの点滅から点灯に変わります。

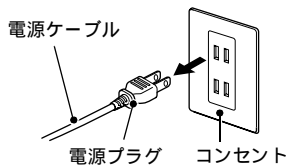
- 4 クールダウンが終了したことを確認します。
クールダウンが終了すると、オペレーションインジケータがオレンジ色の点灯に変わります。
クールダウンの時間は約2分です (外気温などによって変わります)。



ポイント

オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

- 5 電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。



注意

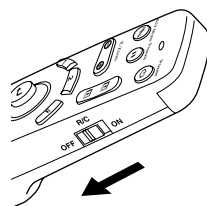
オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

- 6 リモコンの R/C スイッチを OFF にします。

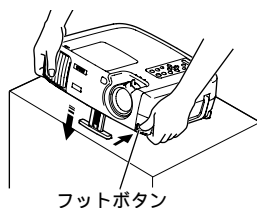


ポイント

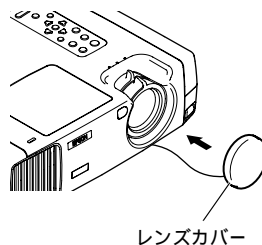
リモコンの R/C スイッチが ON のままになっていると電池が消耗します。使用しないときは R/C スイッチを OFF にしてください。



- 7 フロントフットが出ているときは収納します。フットボタンを押したままゆっくり本体を下に降ろします。



- 8 レンズカバーを取り付けます。レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。



投写画面の調整

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの調整

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。● P.18

ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

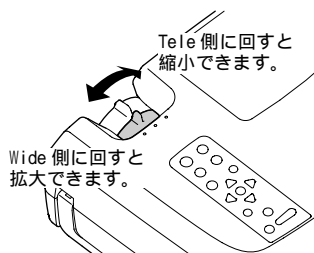


一部分を拡大する E ズーム機能もあります。● P.57

操作

本体のズームリングを回して調整します。
1.35 倍まで拡大できます。

さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。● P.18



コンピュータの場合は、本体の [リサイズ] ボタンまたはリモコンの [Resize] ボタンでリアル表示 / リサイズ表示を切り替えることができます。

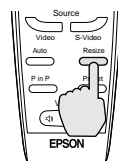
- リサイズ表示 (初期状態) :
どの解像度のときも投写サイズいっぱいになるよう自動処理して投写します。

- リアル表示 (ウィンドウ表示) :
入力解像度のまま投写します。

解像度によっては投写サイズと映像サイズが異なる場合があります。



本体

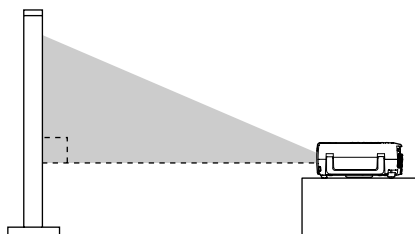


リモコン

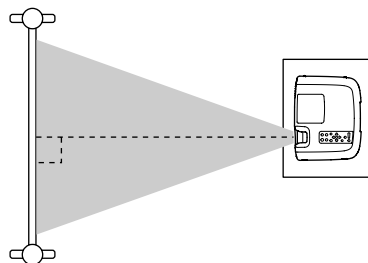
投写角度の調整

プロジェクターの投写角度を調整します。できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき



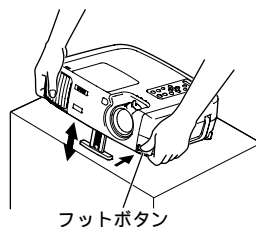
上から見たとき



フロントフットの伸縮を調節することで、最大傾斜角度12°までの範囲で投写角度を調整できます。

操作

フットボタンを押したまま本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットボタンを離します。



ポイント

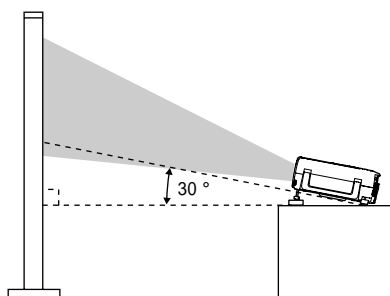
- フット調整をすると、画面が台形にゆがむことがあります。台形ゆがみは台形補正で調整できます。▶ P.46
- フロントフットを収納するには、フットボタンを押したまま、本機をゆっくり降ろしてください。
- 本機が水平方向に傾いているときは、リアフットを回して調整します。

本機をスクリーンに対して直角に設置できない場合、傾斜角度が、上下方向に約 30° 、左右方向に約 10° までの範囲内であれば、次ページの台形補正で調整できます。

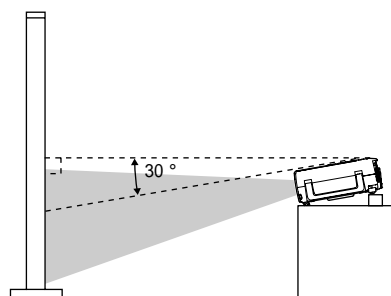
ここで記載した値は、ズームを最も Tele(最小)側に設定した場合の値です。傾斜角度の最大値はズームを Wide 側に調整するほど小さくなります。さらに、上下左右とも傾けた場合は、それぞれの最大傾斜角度は単独で傾けたときよりも小さくなります。

- 上下方向

上方向に約 30°

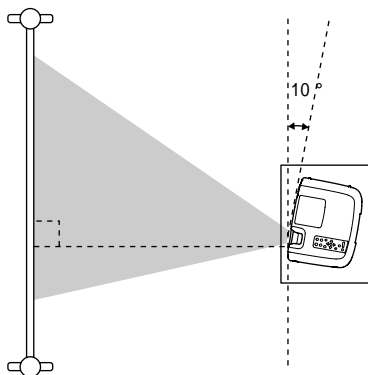


下方向に約 30°

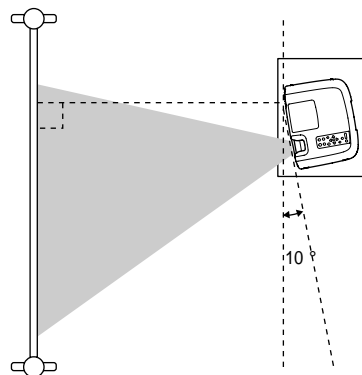


- 左右方向

右方向に約 10°



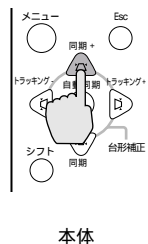
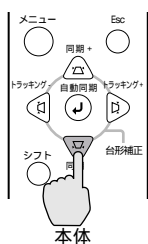
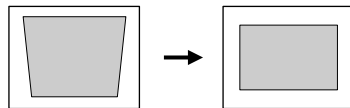
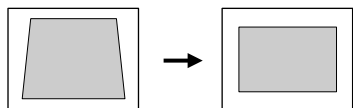
左方向に約 10°



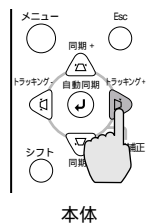
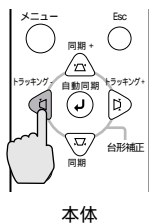
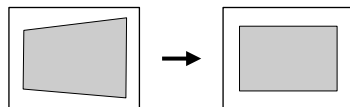
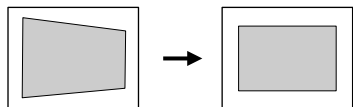
台形にゆがむ場合の補正

設置条件によっては、スクリーンに対して本機を直角に設置できないことがあります。その場合は、画面が台形にゆがむことがあります。画面が台形にゆがんだ場合は、本機の操作パネルにある [台形補正] ボタンを押して調整します。

● 垂直（縦）方向への補正



● 水平（横）方向への補正





ポイント

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- **水平 / 垂直の台形補正を組み合わせる時の手順**
 1. 本機のフロントフットを収納している状態で、本機を水平に設置します。
 2. 必要に応じてフロントフットで角度を付けます。
 3. 画面の縦の辺が垂直になるように垂直方向の台形補正を行います。
 4. 画面の横の辺が水平になるように水平方向の台形補正を行います。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態に合うように再調整してください。
以前行った台形補正を初期の状態に戻すには、次の操作で行います。
垂直方向の台形補正の初期化：[同期+] ボタンを押したまま、[同期] ボタンを1秒以上押す。
水平方向の台形補正の初期化：[トラッキング+] ボタンを押したまま、[トラッキング] ボタンを1秒以上押す。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。
● P. 63
- 台形補正はメニューでも調整できます。 ● P. 68
- 水平・垂直の台形補正を組み合わせると、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。
- 水平(垂直)の台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、水平(垂直)の台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。
- 水平(垂直)の台形補正と、Eズーム、エフェクト、P in Pのいずれかの機能を併用する場合、台形補正量が限界に近い状態でEズームやエフェクト、P in Pを行おうとすると、台形補正量が変化する場合があります。
- 入力している映像信号により、台形補正量の限界値が異なります。

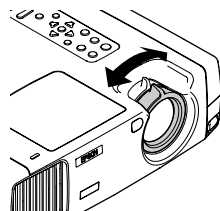
画質の調整

映像を調整します。

ピントを合わせる

操作

フォーカスリングを回して調整します。
本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。



- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。▶ P. 87
- 設置距離が0.9～12.4mからはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。

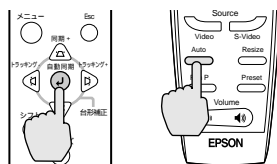
コンピュータ映像の調整

自動調整

コンピュータの映像を最適な状態に調整します。
自動調整されるのは、トラッキング▶▶、表示位置、同期 (Sync.)▶▶の3項目です。

操作

コンピュータの映像を投写中に、本体の [自動同期] ボタンまたはリモコンの [Auto] ボタンを押します。
機能実行中、画面は黒色表示になります。



本体

リモコン

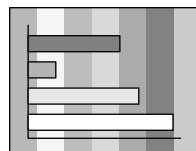


ポイント

- メニュー、ヘルプ表示中は、本体操作パネルの[自動同期]ボタンを押しても無効となります。リモコンの[Auto]ボタンを押すか、メニュー、ヘルプを終了させてから[自動同期]ボタンを押します。
- EズームやA/Vミュート、ピクチャー イン ピクチャーを実行しているときに、リモコンから自動調整を行うと、実行している機能を解除してから調整します。本体の[自動同期]ボタンを押した場合は、Eズーム・ピクチャー イン ピクチャー実行時は自動調整できません。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、それぞれトラッキングと同期を手動で調整してください。

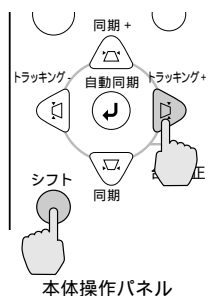
トラッキングの調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキングの調整を行います。

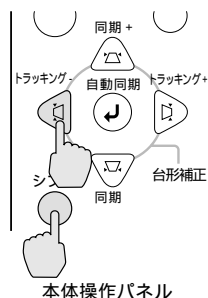


操作

本体の[シフト]ボタンを押したまま[トラッキング+]ボタンを押します。ボタンを押すたびにトラッキングの値が1段階アップします。



本体の[シフト]ボタンを押したまま[トラッキング-]ボタンを押します。ボタンを押すたびにトラッキングの値が1段階ダウンします。

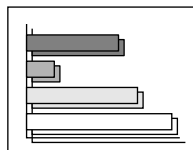


ポイント

連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

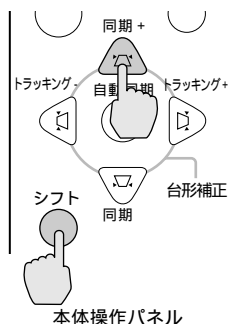
同期の調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期調整を行います。



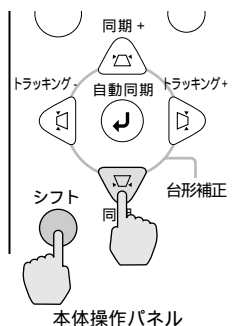
操作

本体の [シフト] ボタンを押したまま [同期 +] ボタンを押します。ボタンを押すたびに Sync. の値が1段階アップします。



本体操作パネル

本体の [シフト] ボタンを押したまま [同期 -] ボタンを押します。ボタンを押すたびに Sync. の値が1段階ダウンします。



本体操作パネル









ポイント

- トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶▶、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

音量の調整

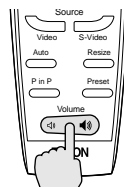
本機の内蔵スピーカ、または本機に接続している外部スピーカの音量を調節します。

操作

本体の [音量  , ] ボタンまたはリモコンの [Volume  , ] ボタンを押します。「」側を押すと音量が上がり、「」側を押すと下がります。ボリューム値の変更中はボリュームゲージが表示されます。



本体



リモコン



ポイント

外部スピーカへ出力しているときは、外部スピーカの音量が調整されま
す。



応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と設定メニューについて説明しています。

投写を効果的にする機能	54
● 機能一覧	54
● 機能の詳細	54
・ A/Vミュート	54
・ フリーズ	55
・ ワイドサイズの映像を写す	56
・ Eズーム	57
・ エフェクト	58
・ エフェクト解除	59
・ P in P (ピクチャー イン ピクチャー機能)	60
設定メニューの機能と操作	62
● 機能一覧	62
・ 「映像」メニュー	62
・ 「音声」メニュー	66
・ 「エフェクト」メニュー	67
・ 「設定」メニュー	68
・ 「ユーザーロゴ」メニュー	69
・ 「高度な設定」メニュー	70
・ 「情報」メニュー	71
・ 「全初期化」メニュー	72
● メニューの操作	73

投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

機能一覧

投写を効果的にする機能には、次のものがあります。

機能	概要	参照ページ
A/V ミュート機能	映像と音声を共に一時消去します。	P.54
フリーズ機能	映像だけを一時停止します。	P.55
ワイドサイズの映像を写す	ビデオ映像投写時にアスペクト比を 4 : 3 から 16 : 9 に切り替え、ワイドサイズの画面で投写します。	P.56
E ズーム機能	映像の一部を拡大します。	P.57
エフェクト 1	映像をポインタで指し示したり、ポインタのアイコンを指定の位置にスタンプできます。	P.58
エフェクト 2	映像の指定部分にスポットライトを当てます。	P.58
エフェクト 3	映像をバーで指し示します。	P.58
P in P 機能	コンピュータやコンポーネントビデオ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。	P.60

機能の詳細

各機能の詳細を説明します。

A/Vミュート

映像と音声を一時的に消します。

例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。

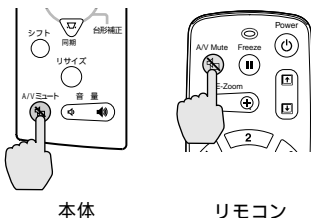
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

本体の [A/V ミュート] ボタンまたはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押します。

映像と音声が消えます。

本体およびリモコンのいずれかのボタンを押すと投写を再開します。



映像と音声を一時的に消したときの状態を、メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、次の3種類の中から選択できます。☞ P.69

黒一色



初期設定

青一色



ユーザーロゴ



ポイント

ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。☞ P.93

フリーズ

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。

動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作

リモコンの [Freeze] ボタンを押します。

映像が停止します。

解除するには再び [Freeze] ボタンを押すか、[Esc] ボタンを押します。



リモコン



ポイント

- [Freeze] ボタンを押すと、メニュー表示、エフェクト機能、ヘルプメッセージは消去されます。
- P in Pで子画面決定後やEズーム実行時は、フリーズを行い、その表示画面を停止できます。

ワイドサイズの映像を写す

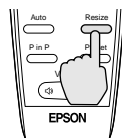
ビデオ映像投写時はアスペクト比 4 : 3 と 16 : 9 を切り替えることができます。デジタルビデオで録画した映像や DVD 映像を 16 : 9 のワイド画面で投写できます。HDTV▶▶ の場合は、中央部分を画面いっぱいに投写できます。

操作

本体の [リサイズ] ボタンまたはリモコンの [Resize] ボタンを押すたびに、画面サイズが切り替わります。

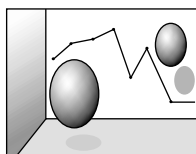


本体

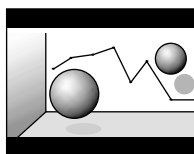


リモコン

SDTV▶▶時

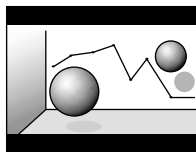


4 : 3 表示

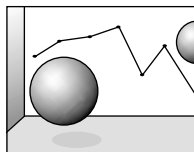


16 : 9 表示

HDTV▶▶時



16 : 9 表示



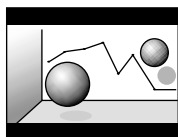
4 : 3 表示



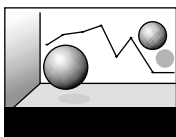
いくつかのBSデジタルチューナーでは、4 : 3 の映像を写すと上下左右に黒い枠が出るものがあります。このような場合に、本機で投写すると、画面いっぱいに投写できます。

16 : 9 表示の位置変更

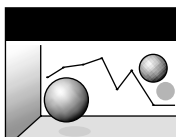
本体の [シフト] ボタンを押したまま [リサイズ] ボタンを押すたびに、次のように表示位置を変更できます



中央



上



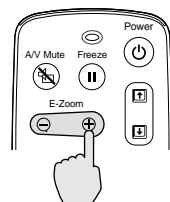
下

Eズーム

グラフや表など見たい部分を拡大 / 縮小できます。

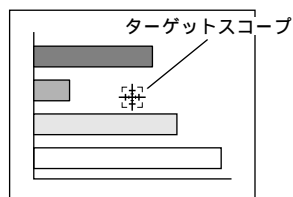
操作

- 1 リモコンの [E-Zoom] ボタンを押します。
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル (ターゲットスコープ) が表示されます。

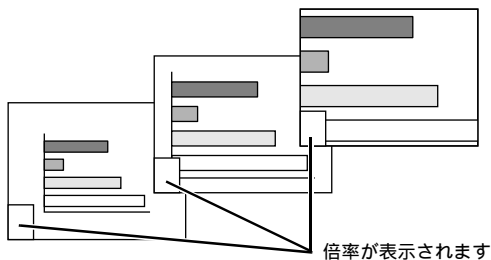


リモコン

- 2 拡大 / 縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。
ターゲットスコープはリモコンの \odot ボタンを傾けて移動します。



- 3 「 \oplus 」側を押すとターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。
「 \ominus 」側を押すと拡大した結果を縮小します。
画面左下に倍率が表示されます。
 \odot ボタンを傾けることによって、画面のスクロールができます。



解除するには [Esc] ボタンを押します。



- 1 ~ 4 倍まで、0.125 倍刻みに 25 段階で拡大できます。
- Pin P 機能で子画面決定後は、親画面と子画面の両方に対して拡大機能を実行します。
- E ズームを行っているときはエフェクトは行えません。また、本体のボタン操作による台形補正、トラッキング調整、同期調整は行えません。
- 台形補正量が限界に近い状態でEズームを行おうとすると、台形補正量が変わる場合があります。

エフェクト

リモコンの [1][2][3] ボタンで、プレゼンテーション中の映像に表示効果をつけることができます。これにより、注目させたい部分をアピールすることができます。

エフェクト1 [1]	ポインタ / スタンプ	映像上にアイコンを表示してポインタとして操作できます。また、そのアイコンをスタンプとして描画もできます。
エフェクト2 [2]	スポットライト	映像上の一部にスポットライトを当てることができます。
エフェクト3 [3]	バー	映像上にバー(水平・垂直線)を描画します。

操作

- 1** リモコンの [1][2][3] ボタンのいずれかを押し、エフェクトの種類を選択します。

画面中央に、次のようにアイコンやバーなどが表示されます。

[1]: ポインタのアイコン

[2]: スポットライト

[3]: バー



リモコン

- 2** ポインタアイコンやバーの種類を選択します。


[1] を押すたびに、ポインタアイコンが と順次切り替わります。


[2] を押すたびに、スポットライトの大きさが 中 大 小 と順次切り替わります。

[3] を押すたびに、バーの種類が と順次切り替わります。



メニューの「エフェクト」で、アイコンやバーの種類、スポットライトの大きさや表示される順序を設定できます。


- 3** リモコンの  ボタンを上下左右に傾けて、各表示を移動します。
エフェクト1：ポインタアイコンが移動します。
エフェクト2：スポットライトが移動します。
エフェクト3：水平バーの場合は上下に、垂直バーの場合は左右に移動します。

- 4** エフェクト1の場合は、スタンプしたい位置にアイコンを移動して、
 ボタンを押します。



- エフェクト1～3を重複して指定することはできません。エフェクト機能実行中に他のエフェクトボタンを押すと、現在のエフェクトが消えて、呼び出したエフェクトボタンの機能が実行されます。
- エフェクト機能中は、リモコンでの通常のワイヤレスマウス機能は行えません。
- 台形補正量が限界に近い状態でエフェクトを行おうとすると、台形補正量が変化する場合があります。

エフェクト解除

[1][2][3]  [Left] 以外のボタンを押すと、エフェクト機能は解除され、描画した内容は消去されます。

P in P (ピクチャー イン ピクチャー機能)

親画面にはコンピュータ、またはコンポーネントビデオ映像、子画面にはビデオ映像 (Video、S-Video) を表示できます。

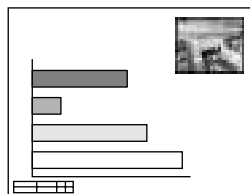
子画面のビデオ映像は、メニューの「設定」-「P in P」で選択します。▶ P.68



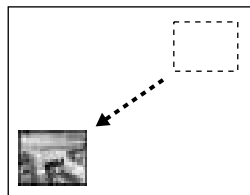
- リフレッシュレートがインタレースに設定されているコンピュータ映像の場合、P in P 機能は働きません。
- TV(525i) のコンポーネント映像の場合、P in P 機能は働きません。

操作

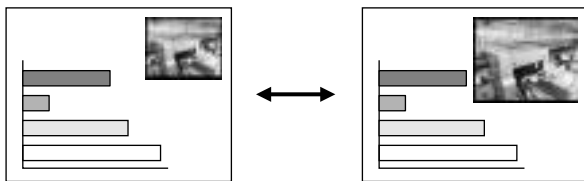
- 1 機器をすべて接続し、「設定」メニューで子画面の設定を行ったうえでリモコンの [P in P] ボタンを押します。画面の右上に子画面が、左下に操作ガイドが表示されます。



- 2 リモコンの ⊕ ボタンを傾けて、子画面の位置を移動します。



- 3 リモコンの [E-Zoom] ボタンを押して子画面のサイズを変更します。



子画面のサイズは5段階で切り替えられます。下記の値は、親画面の縦・横の各辺を1とした場合の子画面の辺の比率です。

1段階 約 1/3.2 2段階 約 1/2.8 3段階 約 1/2.5 4段階 約 1/2.3 5段階 約 1/2.1

[P in P] ボタンを押したときの、初期の子画面は2段階目の大きさとなります。

4 リモコンの ⊙ ボタンを押して、子画面の表示位置とサイズを決定します。

再び [P in P] ボタンを押すと子画面が消えます。



ポイント

- 子画面の位置を変更し確定した場合、次に P in P 機能を実行すると子画面は前回確定した場所に表示されます。
- P in P 機能実行時に、E ズームを行うことができます。
- あらかじめメニューの「音声」 - 「音声入力」で親画面と子画面の音声入力端子を設定しておくと、エフェクトボタンによる音声の切り替えができます。
エフェクト [1] ボタン：親画面の音声
エフェクト [2] ボタン：子画面の音声
- 台形補正量が限界に近い状態で P in P を行おうとすると、台形補正量が変化する場合があります。

設定メニューの機能と操作

設定メニューでは、各種調整や設定ができます。

メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。

メニューの操作方法の詳細は「メニューの操作」(P.73)をご覧ください。



機能一覧

「映像」メニュー

- 映像信号が何も入っていないときは、「映像」メニューは調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。投写している入力ソース以外のメニューは調整できません。



Analog-RGB



Digital-RGB



コンピュータ (Analog-RGB、Digital-RGB)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	表示位置	(Analog-RGBのみ) 映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・  ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
	トラッキング	(Analog-RGBのみ) コンピュータ映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
	同期	(Analog-RGBのみ) コンピュータ映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ・ ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ・ トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	0
	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
	コントラスト▶	映像の明暗の差を調整します。 ・ 設定方法には Auto と Manual があります。Auto 設定にすると、定期的にコントラストの自動調整を行います。	Auto
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
	カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース (コンピュータ、ビデオ機器) ごとに設定を保存できます。6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・ sRGB▶▶ : sRGB 規格に準拠した映像にします。 ・ ノーマル : 明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ ミーティング : 補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・ プレゼンテーション : 暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ シアター : 自然な色合いで映画に最適です。 ・ ゲーム : 自然な色合いで、メリハリのある映像にします。ゲームに最適です。	ノーマル
	入力解像度	(Analog-RGBのみ) Auto か Manual を選択します。 ・ Auto を選択するとオートセットアップを実行します。 ・ Manual を選択した場合、入力解像度をリストから選択して調整します。	Auto
	プリセット登録	(Analog-RGBのみ) プリセットリストへ現在の入力解像度の登録を行います。	-
	初期化	「映像」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・  ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・ 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● P.72	-

sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

RGB ビデオ



コンポーネント (YCbCr, YPbPr)







S-Video, Video



ビデオ (RGB-Video、YCbCr、YPbPr、S-Video、Video)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・ (調整) ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
	コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
	色の濃さ	(RGB ビデオは不可) 映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
	色合い	(RGB ビデオは不可) 映像の色合いを調整します。 NTSC 信号時のみ調整可	中心値 (0)
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	カラーモード	<p>映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース（コンピュータ、ビデオ機器）ごとに設定を保存できます。6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・sRGB  : sRGB 規格に準拠した映像にします。 ・ノーマル：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ミーティング：補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター：自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調（色の濃淡）差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 ・ゲーム：自然な色合いで、メリハリのある映像にします。ゲームに最適です。 	シアター
	ビデオ信号方式	<p>ビデオ信号方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・  ボタンを押して表示される Video 信号方式選択メニューから選択します。 ・「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定しますが、PAL(60Hz)方式の場合は Manual で設定してください。 	Auto
	ノイズリダクション	<p>ノイズリダクション機能の ON/OFF を設定します。「ON」に設定すると、ノイズを軽減します。メニューやヘルプを表示している間は「ON」にしても機能しません。終了した時点から機能が有効となります。</p>	ON
	初期化	<p>「映像」メニューの調整値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・  ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。  P.72 	-

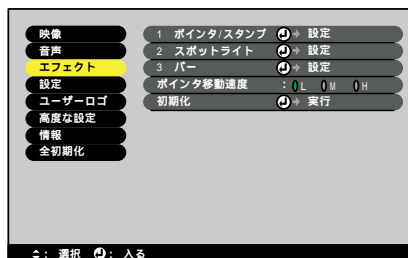
sRGB に設定すると「高度な設定」 - 「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

「音声」メニュー



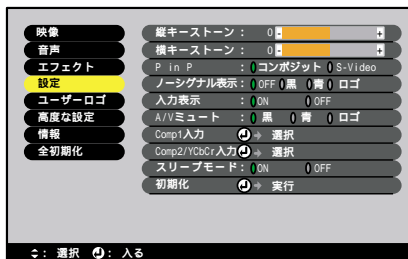
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
音声	音声入力	Audio1/Audio2/USB から、現在の映像ソースに対応する音声入力端子の設定を行います。	接続信号により異なる
	音量	音量を調節します。	15
	高音	高音の強さを調整をします。	中心値 (0)
	低音	低音の強さを調整をします。	中心値 (0)
	初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ (OK) ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・ 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● P.72	-

「エフェクト」メニュー




トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
エフェクト	ボイнта / スタンプ	リモコンの [1] ボタンを押したときに表示されるボイнтаアイコン3種類を、8種類のアイコンの中から選び、さらに表示倍率を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを押して表示されるボイнта / スタンプ設定メニューで項目を選択し、設定します。 ・ ボイнта / スタンプはリモコンの [1] ボタンで実行します。 P.58 	
	スポットライト	リモコンの [2] ボタンを押したときに表示されるスポットライトの大きさを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを押して表示されるスポットライト設定メニューで項目を選択し、設定します。 ・ リモコンの [2] ボタンを押すたびに切り替わる、スポットライトの大きさの順番を決めます。 ・ スポットライトはリモコンの [2] ボタンで実行します。 P.58 	大きさ： 中 大 小
	バー	リモコンの [3] ボタンを押したときに表示されるバーの色や方向、線幅を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを押して表示されるバー設定メニューで項目を選択し、設定します。 ・ バーはリモコンの [3] ボタンで実行します。 P.58 	
	ボイнта移動速度	ボイнтаの移動速度を選択します。 L: 遅い M: 中間 H: 早い	M
	初期化	「エフェクト」メニューの調整値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・ 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 P.72 	-

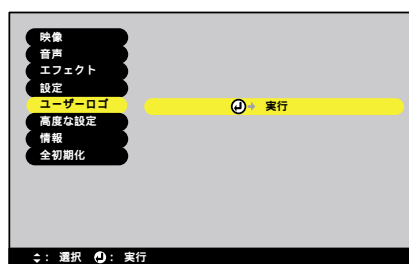
「設定」メニュー




トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
設定	縦キーストーン	<p>台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・水平 / 垂直の台形補正を組み合わせる場合は、まず垂直方向の台形補正を行ってから水平方向の台形補正を行ってください。 ・台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ・水平・垂直の台形補正を組み合わせると、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。 	中心値 (0)
	横キーストーン	<p>台形にゆがんだ画面を水平方向に補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・水平 / 垂直の台形補正を組み合わせる場合は、まず垂直方向の台形補正を行ってから水平方向の台形補正を行ってください。 ・台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 ・水平・垂直の台形補正を組み合わせると、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正量が少なくなります。 	中心値 (0)
	P in P	<p>ピクチャー イン ピクチャー機能の子画面の入力ソースを、コンポジットビデオ、S-Video のどちらかに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャー イン ピクチャー機能は [P in P] ボタンで実行します。 P.60 	コンポジット
	ノーシグナル表示	<p>映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、バックグラウンドの画面の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。 P.93 	青

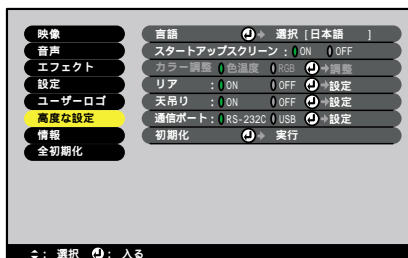
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
設定	入力表示	入力映像のソースプロンプトを画面に表示するかしないかを設定します。	ON
	A/V ミュート	本体の [A/V ミュート] またはリモコンの [A/V Mute] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	黒
	Comp1 入力	Computer1 入力への映像信号の設定を行います。	Digital-RGB / Analog-RGB
	Comp2/YCbCr 入力	Computer2 入力への映像信号の設定を行います。	Analog-RGB
	スリープモード	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で 30 分間操作しないと自動的に投写を終了し、スリープモード（スタンバイ状態）になります。（オペレーションインジケータはオレンジ色に点灯しています。） ・本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押すと投写を再開します。	ON
初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・  ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	-	

「ユーザーロゴ」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
ユーザーロゴ	実行	ユーザーロゴを登録します。☛ P.93 ・  ボタンを押して、表示される画面の指示に従って操作します。	EPSON ロゴ

「高度な設定」メニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
高度な設定	言語	メッセージに表示する言語を設定します。 ・ ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語
	スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を行います。 ・ ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	ON
	カラー調整	映像の色温度とRGBの各色の強さを調整します。 色温度：色温度を設定します。 ・ ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 RGB：RGB(赤緑青)の各色ごとの強さを設定します。 ・ ボタンを押して表示されるカラー定義メニューでR(赤)、G(緑)、B(青)の項目を選択し、それぞれ設定します。 ・ 設定は画面の状態を見ながら調整してください。 (「映像」-「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません)	色温度： 接続信号により異なる
	リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
	天吊り	天井に取り付けて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が上下左右に反転します。	OFF
	通信ポート	RS-232C 接続と USB 接続を切り替えるために、通信ポートの設定をします。	RS-232C
	初期化	「高度な設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・ ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・ 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	-

「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力ソースの設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

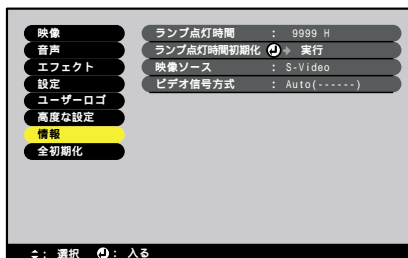
コンピュータ



コンピュータ (Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YPbPr)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
	ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
	映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
	入力信号	入力信号の設定を表示します。	
	周波数	水平走査周波数を表示します。	-
	同期極性	同期の極性を表示します。	-
	同期モード	同期の属性を表示します。	-
	入力解像度	入力解像度を表示します。	-
	リフレッシュレート▶▶	リフレッシュレートを表示します。	-

ビデオ



ビデオ (S-Video、Video)

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で表示されます。	0H
	ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプの点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
	映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
	ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。	Auto

「全初期化」メニュー



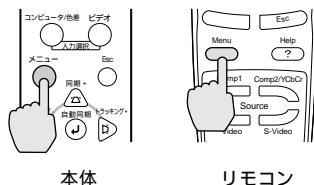
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
全初期化	実行	設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・ (Ⓜ) ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・ 映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ・ ユーザーロゴ、ランプ点灯時間、言語は初期値に戻りません。	-

メニューの操作

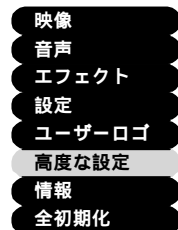
メニューは本体とリモコンの両方で操作できます。

操作

- 1 本体の [メニュー] ボタンまたは、リモコンの [Menu] ボタンを押します。
トップメニューが表示されます。



- 2 項目を選択します。
本体の場合は、[同期+] [同期-] ボタンを押します。
リモコンの場合は、 \odot ボタンを上下に傾けます。




- 3 項目を決定します。
 \odot ボタンを押して項目を決定します。
サブメニューが表示されます。



- 4 サブ項目を選択します。
本体の場合は、[同期+] [同期-] ボタンを押します。
リモコンの場合は、 \odot ボタンを上下に傾けます。






「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。

- 5** 設定値を選択します。
本体の場合は、[トラック-] [トラック+] ボタンを押します。
リモコンの場合は、 ボタンを左右に傾けます。



ポイント

- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに  (Enter) が付いています。この項目の場合は  ボタンを押して決定した後、さらに設定値を選択します。
- 各設定項目の機能については機能一覧を参照してください。  P.62

- 6** 続いて他の項目も同様に設定します。
手順2～5と同様です。1つ前の階層に戻るには、[Esc] ボタンを押します。
- 7** メニューを終了します。
本体の [メニュー] ボタンまたは、リモコンの [Menu] ボタンを押します。



付 録

ここでは、トラブルの解決法やメンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

困ったときに.....	76
● ヘルプの見方.....	76
● 故障かなと思ったら.....	78
● インジケータを見てもわからないとき.....	81
お手入れの方法.....	87
● 各部の掃除.....	87
・ 本体の掃除.....	87
・ レンズの掃除.....	87
・ エアフィルタの掃除.....	88
● 消耗品の交換.....	89
・ ランプの交換時期.....	89
・ ランプの交換方法.....	90
・ ランプ点灯時間の初期化.....	91
・ エアフィルタの交換.....	92
ユーザーロゴの登録.....	93
オプション品一覧.....	95
用語解説.....	96
ESC/VP21 コマンド一覧.....	98
● コマンドリスト.....	98
● 通信プロトコル.....	99
● USB 通信の準備.....	99
● ケーブル配線.....	100
対応解像度一覧.....	101
仕様一覧.....	102
外形寸法図.....	103
索引.....	104

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルおよび対処方法を説明しています。

ヘルプの見方

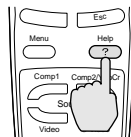
トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

操作

- 1 本体の[ヘルプ]ボタンまたは、リモコンの[Help]ボタンを押します。ヘルプメニューが表示されます。



本体

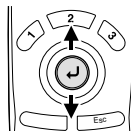


リモコン

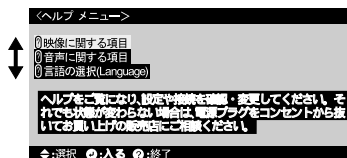
- 2 項目を選択します。
本体の場合は、[同期+] [同期-]ボタンが上下キーとして機能します。
リモコンの場合は、 \odot ボタンを上下に傾けます。



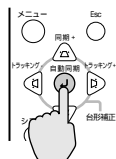
本体



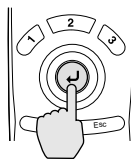
リモコン



- 3 項目を決定します。
 \odot ボタンを押して項目を決定します。
[Esc] ボタンを押すとひとつ前のメニューへ戻ります。

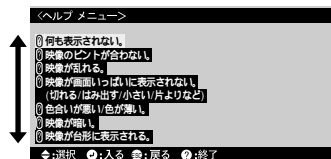


本体



リモコン

4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。



本体の[ヘルプ]ボタンまたはリモコンの[Help]ボタンを押すとヘルプメニューは解除されます。

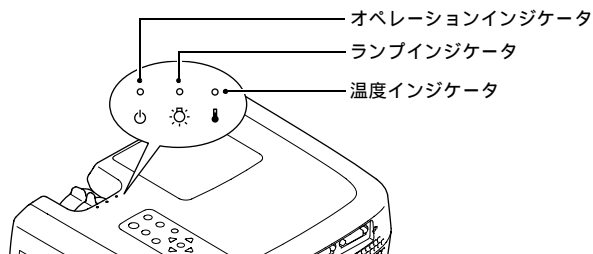


ポイント

ヘルプ機能を使っても分からないときは、「故障かなと思ったら」(●P.78) および「インジケータを見てもわからないとき」(●P.81)をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



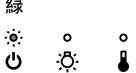




インジケータの状態とその対処方法については、以下の表を参照してください。

● : 点灯 ※ : 点滅 ○ : 消灯

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
赤 ● 赤 ※ 赤 ● ● ●	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	
赤 ● 赤 ● ● ●	ファン異常 / センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	
赤 ● 赤 ● ● ●	ランプ異常	新しいランプと交換してください。ランプの交換を行った場合は、ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。	P.90

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
赤 ● ● ☼ ☼ ④ ④	ランプ点灯失敗	<p>前回、終了時にクールダウンが完全に終わらないうちに電源プラグを抜いた場合は、この状態になることがあります。</p> <p>約2分間は、そのままの状態でお待ちください。約2分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら電源プラグを一旦抜いて、差し直します。電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますので本体の[電源]ボタンまたはリモコンの[Power]ボタンを押して電源を入れ直します。</p> <p>電源を入れ直したときに繰り返しランプ点灯失敗状態になった場合は、ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。割れていなければセットし直します。割れている場合は、ランプを交換します。その後、本体の[電源]ボタン、またはリモコンの[Power]ボタンを押します。</p> <p>それでも、インジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。</p>	P.90
赤 ● ● ☼ ☼ ④ ④	内部高温異常(オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態でお待ちください。約5分経過すると、本機のファンが停止します。ファンが停止したら電源プラグを一旦抜いて、差し直します。</p> <p>オーバーヒートした場合は、次の2点を確認して改善します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通気の良い場所に設置していますか。 吸気口・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアークフィルタにホコリが溜まっていませんか。 エアークフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 <p>電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますので本体の[電源]ボタンまたは、リモコンの[Power]ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。</p>	P.18 P.88
赤 ● ● ☼ ☼ ④ ④	高速冷却中	<p>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口・排気口をふさがらないよう、通気性の良い場所に設置してください。 ● エアークフィルタの掃除をしてください。 	P.18 P.88

インジケータの状態	状態	原因と処置	参照ページ
ランプ 	ランプの交換時期が近い	新しいランプの用意をしてください。使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。オペレーションインジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。	P. 89
ランプ 	スタンバイ状態	(異常ではありません。) 本体の [電源] ボタンまたは、リモコンの [Power] ボタンを押すと投写を開始します。	P. 39
緑 	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。緑色の点滅が点灯に変わります。	P. 39
緑 	投写中	(異常ではありません。)	P. 39
ランプ 	クールダウン中	(異常ではありません。) <ul style="list-style-type: none"> ● そのまましばらくお待ちください。クールダウン▶▶ (ランプを冷やす動作) の時間は約2分です。この時間は、外気温などによって変わります。 ● クールダウン中は本体の [電源] ボタン、リモコンの [Power] ボタンは操作できません。クールダウンが終了し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。 	P. 41



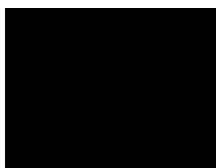
- インジケータは異常を示していないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

- | | | | |
|-------------------------|------------|---------------|--------|
| ● 映像が写らない | 81, 82 ページ | ● 映像が暗い | 85 ページ |
| ● 映像が汚い | 82, 83 ページ | ● 音が出ない | 85 ページ |
| ● 映像が切れる
(大きい / 小さい) | 84 ページ | ● リモコンで操作できない | 86 ページ |
| ● 映像の色が悪い | 84, 85 ページ | ● 終了しない | 86 ページ |

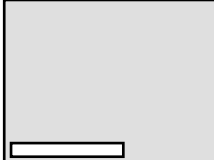

映像が写らない (何も表示されない)



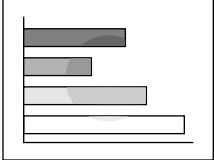
映像が写らない

- レンズカバーが付いたままではありませんか？
☛ P.38
- 電源を OFF にした後で、すぐ ON にしませんでしたか？
投写終了直後 (クールダウン中) は本体の [電源] ボタン
またはリモコンの [Power] ボタンの操作はできません。
クールダウンが終了してから本体の [電源] またはリモ
コンの [Power] ボタンの操作が有効となります。☛ P.41
- スリープモードを ON にしていませんか？
スリープモードを「ON」に設定した場合、映像信号が入ら
ない状態で 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し
ます。このときオペレーションインジケータがオレンジ色に
点灯します。☛ 「設定」 - 「スリープモード」 P.69
- [電源] ボタンまたは [Power] ボタンを押しましたか？
☛ P.39
- 映像の明るさは正しく調整されていますか？
☛ 「映像」 - 「明るさ」 P.63
- [A/V ミュート] モードになっていませんか？
☛ P.54
- 入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？
スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっている
ことがあります。
- 映像信号が入力されていますか？
メニューの「設定」 - 「ノーシグナル表示」で「OFF」に設定
しているときは、メッセージが表示されません。黒または青
に設定して、メッセージを表示させてください。メッセ
ージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してくだ
さい。☛ P.68
- 全初期化してみてください。
☛ 「全初期化」 - 「実行」 P.72

映像が写らない (メッセージが出る)

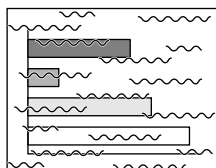
	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。 ● P.101 ● 入力信号が接続機器に合っていますか？ メニューの「設定」-「Comp1入力」または「Comp2/YCbCr入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。 Comp1の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video Comp2の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YpPr ● P.69
	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブル類が正しく接続されていますか？ ● P.19 ~ P.35 ● 接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？ 本体の [コンピュータ / 色差]、[ビデオ] (リモコンの場合には [Comp1]、[Comp2/YCbCr]、[Video]、[S-Video]) ボタンを押し、映像を切り替えてください。 ● P.40 ● 接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？ ● P.39 ● ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。 通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニターへ出力のしかた」などを参照してください。 ● P.40

映像が汚い

	<ul style="list-style-type: none"> ● ピントは正しく調整されていますか？ ● P.48 ● フット調整で投写角度が大きくなっていませんか？ 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。 ● P.44 ● 投写距離は最適ですか？ 投写距離の推奨範囲は、0.9m ~ 12.4m です。この範囲で設置してください。 ● P.18 ● 投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？ ● P.44 ● レンズが汚れていませんか？ ● P.87
---	--

- ・ 映像がぼやける
- ・ 映像の一部しかピントが合わない
- ・ ピントがまったく合わない

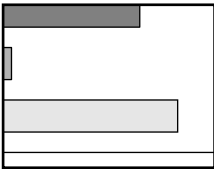
- レンズが結露していませんか？
寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。電源を切ってしばらく放置してください。
- 「同期」▶▶・「トラッキング」▶▶・「表示位置」は正しく調整されていますか？
本体の [自動同期] ボタンまたはリモコンの [Auto] ボタンを押して調整します。メニューを開いて調整することもできます。
● P.48, 「映像」メニューP.63
- 映像の信号形式の設定は合っていますか？
メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。● P.65
- 入力信号が接続機器に合っていますか？
メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。
Comp1 の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video
Comp2 の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YPbPr
● P.69



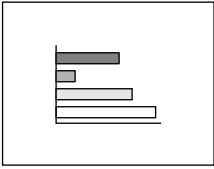
- ・ 映像が乱れる
- ・ ノイズが入る

- ケーブルは正しく接続されていますか？
● P.19 ~ P.35
- 解像度の選択は正しいですか？
本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。● P.101
- 「同期」▶▶・「トラッキング」▶▶・「表示位置」は正しく調整されていますか？
本体の [自動同期] またはリモコンの [Auto] ボタンを押して調整します。メニューを開いて調整することもできます。● P.48, P.63
- ケーブルを延長していませんか？
ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用するか、増幅機器などを接続して確認してください。
- 映像の信号形式の設定は合っていますか？
メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」で、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。● P.65
- 入力信号が接続機器に合っていますか？
メニューの「設定」-「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。
Comp1 の場合：Digital-RGB、Analog-RGB、RGB-Video
Comp2 の場合：Analog-RGB、RGB-Video、YCbCr、YPbPr
● P.69

映像が切れる (大きい / 小さい)



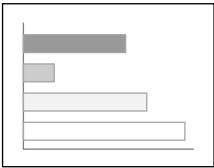
映像が切れる



小さい

- 「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。本体の [リサイズ] ボタンまたはリモコンの [Resize] ボタンを押してください。☛ P.43,56
- 「表示位置」は正しく調整されていますか？メニューの「映像」-「表示位置」で調整してください。☛ P.63
- 解像度の選択は正しいですか？本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。☛ P.101
- ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。☛ P.40
- デュアルディスプレイの設定をしていませんか？コントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。

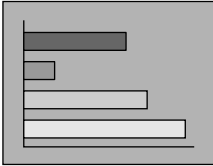
映像の色が悪い



- 映像の明るさは正しく調整されていますか？☛ 「映像」-「明るさ」 P.63
- ケーブル類が正しく接続されていますか？☛ P.19 ~ P.35
- コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？☛ 「映像」-「コントラスト」 P.63
- カラー設定は正しく設定されていますか？☛ 「映像」-「カラーモード」 P.63
- 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？(コンピュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)☛ 「映像」-「色の濃さ」 P.64、「映像」-「色合い」 P.64
- ランプの交換時期ではありませんか？ランプインジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせていません。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。☛ P.89

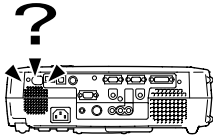
- 入力信号が接続機器に合っていますか？
メニューの「設定」- 「Comp1 入力」または「Comp2/YCbCr 入力」で機器の信号に合った信号方式を設定してください。
コンピュータを接続しているのに「YCbCr」や「YPbPr」に設定していると、映像が紫色がかって表示されます。
コンポーネント映像機器を接続しているのに「Analog-RGB」に設定していると、映像が緑色で表示されます。 ● P.69

映像が暗い



- ランプの交換時期ではありませんか？
ランプインジケータがオレンジ色で点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。 ● P.89
- 映像の明るさは正しく調整されていますか？
● 「映像」- 「明るさ」 P.63
- コントラストは正しく調整されていますか？
● 「映像」- 「コントラスト」 P.63

音が出ない



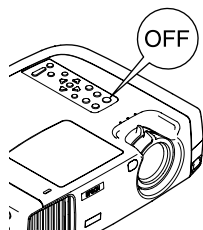
- 音声入力は正しく接続されていますか？ ● P.24
- 音声を入力する端子が選択されていますか？
メニューの「音声」- 「音声入力」で音声を入力する端子を設定します。 ● P.66
- 接続した機器から音が出ていますか？
接続機器の音量などを確認してください。
- 音量調整が最小になっていませんか？
● P.51
- [A/V ミュート] が ON のままではありませんか？
「A/V ミュート」モードになっていることが考えられます。
本体の [A/V ミュート] ボタンまたは、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押して「A/V ミュート」を解除してください。 ● P.54
- 外部スピーカへ出力していませんか？
Audio Out 端子へステレオミニジャックを接続しているときは、本体のスピーカから音声は出力されません。 ● P.35
- コンピュータ側で本機の USB オーディオが選択されていますか？
USB 経由でコンピュータの音声を出す場合は、コンピュータ側のオーディオのプロパティで、本機の USB オーディオが選択されていなくてはなりません。

リモコンで操作できない



- リモコンの R/C スイッチが「ON」になっていますか？
☛ P.14
- 正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？
操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 15° です。
- プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？
操作可能距離は、約 10m です。☛ P.14
- リモコンレシーバーを接続していて、リモコンをプロジェクターに向けて操作していませんか？
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？
- 乾電池は入っていますか？
☛ P.13
- 乾電池が消耗していませんか？
- 乾電池が逆にセットされていませんか？
☛ P.13
- PS/2 マウス接続時に動作しない場合は、コンピュータの再起動が必要です。

終了しない ([電源] ボタンまたは [Power] ボタンを押した後に...)



- オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。
本機は電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。
- ファンが止まらない。
本体の [電源] ボタンまたはリモコンの [Power] ボタンを押して電源を切った後、**クールダウン**を行います。その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
クールダウンの時間は、約 2 分です。この時間は外気温などによって変わります。

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明しています。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。

掃除にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みになり、取り扱い上の注意を確認してから行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。



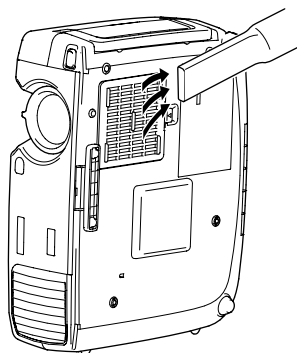
注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルタの掃除

エアフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアフィルタのごみが入らないように、必ず本機を立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。



ポイント

- エアフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- 交換用ランプには、交換用エアフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。

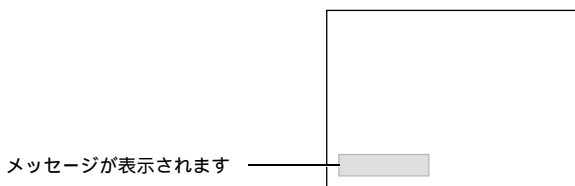
消耗品の交換

ここでは、ランプとエアフィルタの交換方法について説明しています。

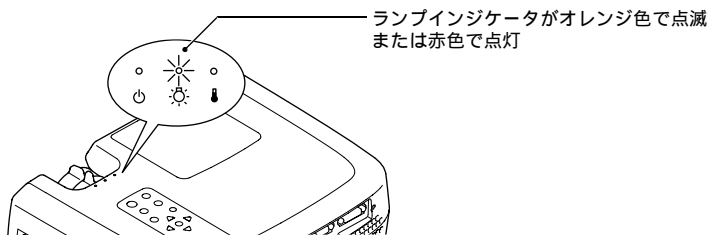
ランプの交換時期

次のときは、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」とメッセージが30秒間表示されたとき



- ランプインジケータがオレンジ色で点滅、または赤色で点灯したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



- 初期の明るさや画質を維持するため、メッセージが表示されたら、なるべく早めにランプを交換してください。
- 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1400時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 交換表示は約1400時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをお奨めします。
- ランプ交換勧告のメッセージが表示された場合は、スタートアップスクリーンの設定をONにしてもユーザーロゴは表示されません。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル (0120)251-528 でお買い求めください。

ランプの交換方法

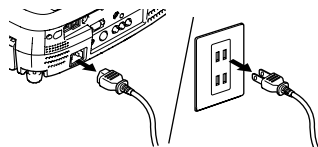


ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。

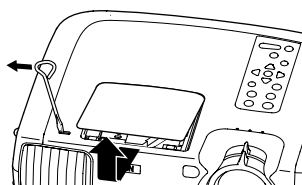
本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。また、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。

操作

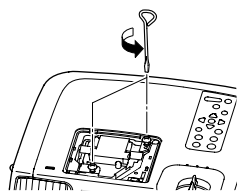
- 1 本体の電源を切り、**クールダウン**が終了してから、電源ケーブルを外します。クールダウンの時間は、約2分です。この時間は外気温などによって変わります。



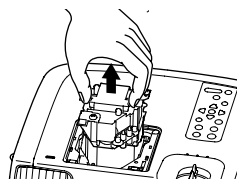
- 2 ランプが十分冷えてからランプカバーを外します。ランプが十分冷えるには約30分間必要です。ランプカバー開スイッチを交換用ランプに付属のドライバでスライドさせると、ランプカバーが浮き上がります。浮き上がった部分に指をかけて本機正面側にスライドさせ、カバーを取り外します。



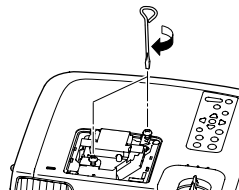
- 3 ランプ固定ねじ2本をゆるめます。ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ2本を、交換用ランプに付属のドライバでゆるめます。



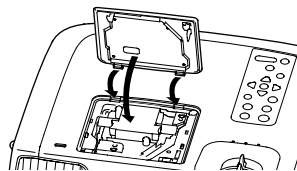
- 4 ランプを引き出します。ランプの上面部分のくぼみを指ではさんで持ち上げ、ランプを引き出します。



- 5** 新しいランプを取り付けます。
ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



- 6** ランプカバーを取り付けます。
カバーの2ヶ所のツメを本体に差し込み、反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



ポイント

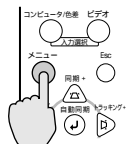
- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。
- 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

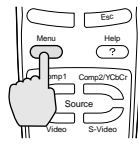
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

操作

- 1** 本体の[メニュー]ボタンまたは、リモコンの[Menu]ボタンを押します。
トップメニューが表示されます。



本体



リモコン

- 2** 「情報」-「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、**実行**ボタンを押します。

ランプ点灯時間	: 0000 H
ランプ点灯時間初期化	実行
映像ソース	: Computer1
入力信号	: Analog-RGB
周波数	: H 000.00 kHz
	: V 000.0 Hz
同期極性	: H Negative
	: V Negative
同期モード	: Separate Sync
入力解像度	: 0000x0000
リフレッシュレート	: 000.0 Hz

- 3 「はい」を選択して、**Ⓜ** ボタンを押します。
ランプ点灯時間が初期化されます。

ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間を初期化しますか？

はい

いいえ



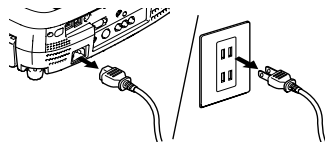
ポイント

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

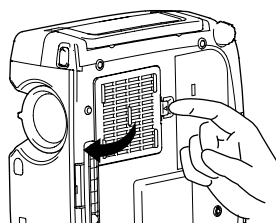
エアフィルタの交換方法

操作

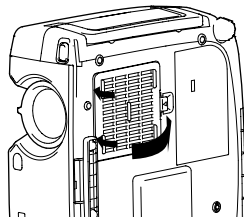
- 1 本体の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。クールダウンの時間は、約 2 分間です。この時間は、外気温などによって変わります。



- 2 エアフィルタのフック部分のくぼみに指をかけて持ち上げ、エアフィルタを外します。
エアフィルタのごみが入らないよう必ずハンドル面を上にして、本機を立てたまま作業してください。



- 3 新しいエアフィルタをセットします。
つめの部分を先に入れてから反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



ポイント

使用済みのエアフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

操作

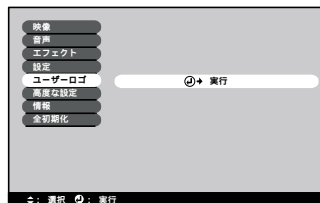
1 ユーザーロゴとして登録したい映像を表示し、本体の[メニュー]ボタンまたはリモコンの[Menu]ボタンを押します。

2 「ユーザーロゴ」メニューを選択し、
⊙ ボタンを押します。

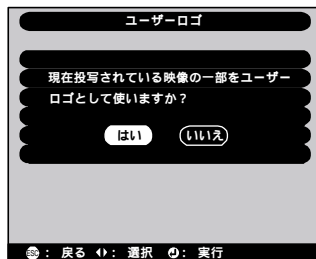


ポイント

台形補正を行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると台形補正が解除されます。



3 サブメニューで「はい」を選択し、
⊙ ボタンを押します。



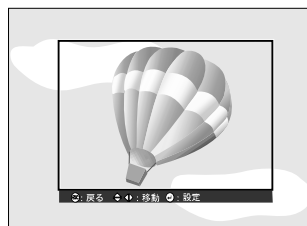
4 登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。

リモコンの⊙ボタンを傾けて、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択したのち、
⊙ボタンを押します。



ポイント

入力されている映像信号が YCbCr、YPbPr の場合は、選択枠は中央付近しか移動できません。



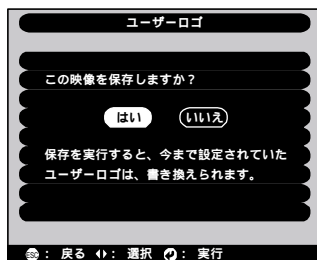
- 5 使用確認画面で「はい」を選択し、
 Ⓢ ボタンを押します。



- 6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、
 Ⓢ ボタンを押します。



- 7 保存確認画面で「はい」を選択し、
 Ⓢ ボタンを押します。
 映像が保存されます。保存が終了すると
 「ユーザーロゴの設定が終了しました。」
 とメッセージが表示されます。



ポイント

- 保存にはしばらく時間がかかります(約40秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- 登録できるサイズは400×300ドットです。
- XGA以外の解像度のときと、ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2002年4月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ハードトラベルケース ハンドキャリングするときに使います。	ELPKS26	D端子ケーブル (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)	ELPKC22
ソフトキャリングケース ハンドキャリングするときに使います。	ELPKS27	BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。	
交換用ランプ 使用済みランプと交換します。	ELPLP15	デジタルI/Fケーブル (DVI-D オス - オス 3m)	ELPKC20
携帯スクリーン (50型) 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。	ELPSC06	デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDVI▶▶用ケーブルです。	
60型スクリーン	ELPSC07	デジタルI/Fケーブル (DVI-D/DFP20pin用 3m)	ELPKC21
80型スクリーン	ELPSC08	デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDFP▶▶用ケーブルです。	
54型分割マグネットスクリーン 分割マグネット式スクリーンです。	ELPSC09	デジタルI/Fケーブル (DVI-I/ミニD-Sub 15pin用 3m)	ELPKC25
高輝度ウインドウスクリーン (40型)	ELPRS01	アナログRGB出力のコンピュータを本機に2台接続するときに使います。	
(50型)	ELPRS02		
(60型)	ELPRS03		
窓や透明板に投写するときに使います。		コンポーネントビデオケーブル (ミニD-Sub 15pin/RCA × 3用 3m)	ELPKC19
コンピュータケーブル (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m)	ELPKC02	コンポーネント映像を投写するときに使います。	
本機にコンピュータを接続し、UXGAの解像度で投写したいときに本ケーブルを使います。		リモコンレシーバー	ELPST04
コンピュータケーブル (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)	ELPKC09	離れた場所から、確実にリモコン操作したいときに使います。	
コンピュータケーブル	ELPKC10	天吊り金具	ELPMB07
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)		本機を天井に取り付けるときに使います。	
製品付属のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。		天井プレート	ELPFC03
コンピュータケーブル	ELPKC11	パイプ 370 (370mm シルバー)	ELPFP04
(ミニD-Sub 15pin/5BNC用 1.8m)		パイプ 570 (570mm シルバー)	ELPFP05
本機にワークステーションを接続するときに使います。		パイプ 770 (770mm シルバー)	ELPFP06
コンピュータ延長ケーブル (ミニD-Sub 15pin オス・メス用 5m 延長)	ELPCB05	高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。	
コンピュータ延長ケーブル	ELPCB10	マルチメディアビューワー	ELPDC02
(ミニD-Sub 15pin オス・メス用 10m 延長)			ELPDC03
添付のコンピュータケーブルを延長するときに使います。			ELPDC04
PC セレクタ	ELPST01	書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。	
2台のコンピュータを切り替えて使用するときに使います。(ケーブル2本付)			

天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
A/V Mute	一時的に音声と映像を消すことをいいます。本機では本体の [A/V ミュート] ボタンまたは、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押すことにより音声と映像を一緒に消すことができます。再び本体の [A/V ミュート] または、リモコンの [A/V Mute] ボタンを押すと解除されます。
DFP	Digital Flat Panel の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
DVI	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格であり、DFP よりも高解像度の画像が転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
Freeze	一時的に映像のみを停止することをいいます。本機では [Freeze] ボタンを押すことにより映像のみを停止することができます。再び [Freeze] ボタンを押すと解除されます。
HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none">・垂直解像度 720P、1080I 以上 (P はプログレッシブ走査、I はインタレース走査)・画面のアスペクト比は 16 対 9・ドルビーデジタル音声の受信、再生 (あるいは出力)
Remote 端子	オプションのリモコンレシーバーを接続します。
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット × 縦 600 ドットのを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット × 縦 1,024 ドットのを呼びます。
S ビデオ映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y (輝度信号) C (色信号) の 2 つの独立した信号からできている映像をいいます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット × 縦 480 ドットのを呼びます。
XGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット × 縦 768 ドットのを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,600 ドット × 縦 1,200 ドットのを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ (NTSC 方式) で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y (輝度信号) CbCr (クロマ (色) 信号) で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y (輝度信号) PbPr (色差信号) で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 9 対 16 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 3 対 4 です。

色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インターレース	静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分です。
クールダウン	本体の [電源] ボタンまたは、リモコンの [Power] ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続き行われています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転すると同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、約 2 分です。この時間は外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といえます。
コンポジット映像	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC 方式) です。カラーバー信号の中の伝送用信号 Y (輝度信号) とクロマ (色) 信号からできている映像を言います。
コンポーネント映像	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。ハイビジョンにおいて、Y (輝度信号) Pb、Pr (色差信号) の 3 つの独立した信号からできている映像を言います。
色差信号 (コンポーネント)	ビデオ機器から赤 - 輝度 (R-Y)、輝度 (Y)、青 - 輝度 (B-Y) の 3 つの信号を 3 本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号 (赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を 1 本のケーブルで送る方式) とくらべて、よりきれいに投写することができます。
ソースプロンプト	入力信号の種類を画面に表示することを示します。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社 情報機器事業部 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 (ナナヨービル) Tel: 03-3663-7787 Fax: 03-3669-2367
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相 (山のずれ) を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数 (山の数) を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために 1 秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で設定します。

ESC/VP21 コマンド一覧

コマンドリスト

電源 ON コマンドを送信すると、電源が ON になり、プロジェクターがコマンド受け付け可能になると '3Ah' (:) を返します。

また、コマンド処理が終了した場合も、' :' が返信されます。

' :' を待つことで、プロジェクターの Ready/Busy を知ることができます。

異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に ' :' を送信します。

項 目	コマンド	
電源の ON/OFF	ON	PWR ON
	OFF	PWR OFF
信号切り替え	Computer1(Analog-RGB)	SOURCE 11
	Computer1(Digital-RGB)	SOURCE 12
	Computer1(RGB-Video)	SOURCE 13
	Computer2/Component Video (Analog-RGB)	SOURCE 21
	Computer2/Component Video (RGB-Video)	SOURCE 22
	Computer2/Component Video (YCbCr)	SOURCE 23
	Computer2/Component Video (YPbPr)	SOURCE 24
	Video	SOURCE 41
	S-Video	SOURCE 42
A/V Mute の ON/OFF	ON	MUTE ON
	OFF	MUTE OFF
A/V Mute の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

通信プロトコル

- ボーレート基準速度 : 9600 bps
- データ長 : 8 bits
- パリティ : なし
- ストップビット : 1 bit
- フロー制御 : Xon/Xoff

USB 通信の準備

本機を ESC/VP21 コマンドで制御するために、USB ケーブルを使って本機とコンピュータを接続する場合、事前に次の準備が必要です。

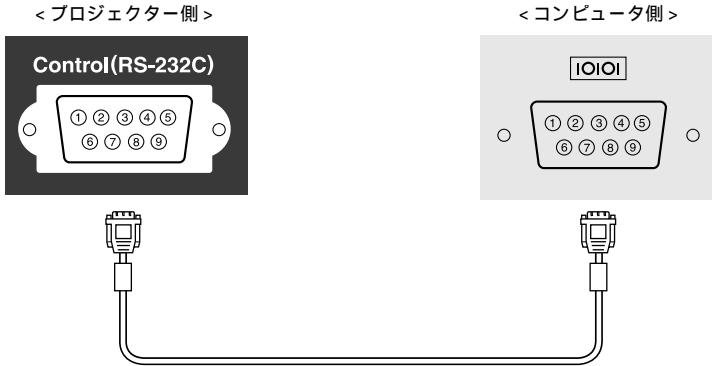
操作

- 1** エプソンホームページ「I Love EPSON」から「EMP Link21L」をダウンロードします。
URL は裏表紙をご覧ください。
- 2** USB 通信ドライバ (USB-COM Driver) が同時にダウンロードされるので、お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。
インストールの詳細は、同時にダウンロードされる『EMP Link21L ユーザーズガイド』をご覧ください。
- 3** 本機の環境設定メニューで「高度な設定」-「通信ポート」を「USB」に設定します。
以上の手順で USB 接続による通信が可能になります。

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクタ形状 : D-sub 9pin (オス)
- プロジェクター入力端子名 : Control (RS-232C)



< プロジェクター側 > (PC シリアルケーブル) < コンピュータ側 >

GND	5	—————	5	GND
RD	2	←—————	3	TD
TD	3	—————→	2	RD
DTR	4	—————→	6	DSR
DSR	6	←—————	4	DTR

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

USB 接続

- コネクタ形状 : USB (B タイプ)



対応解像度一覧

信号	リフレッシュ レート (Hz)	解像度 (ドット)	リサイズ表示時 (リサイズ ON) 使用画素数 (ドット)		リアル表示時 (リサイズ OFF) 使用画素数 (ドット)
			ELP-820/811	ELP-600	
PC98		640 × 400	1024 × 640	800 × 500	640 × 400
EGA		640 × 350	1024 × 560	800 × 438	640 × 350
VGA	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
VGACGA		640 × 400	1024 × 640	800 × 500	640 × 400
VGAEGA		640 × 350	1024 × 560	800 × 438	640 × 350
VGA text		720 × 400	1024 × 568	800 × 444	720 × 400
		720 × 350	1024 × 498	800 × 388	720 × 350
VESA	72/75/85/ 120, iMac ³	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
SVGA	56/60/72/75/85/ 120, iMac ³	800 × 600	1024 × 768	800 × 600	800 × 600
XGA	43i/60/70/75/85/ 120, iMac ³	1024 × 768	1024 × 768	800 × 600	1024 × 768
SXGA	70/75/85/100	1152 × 864	1024 × 768	800 × 600	1152 × 864 ¹
SXGA	60/75/85	1280 × 960	1024 × 768	800 × 600	1280 × 960 ¹
SXGA	43i/60/75/85	1280 × 1024	960 × 768	750 × 600	1280 × 1024 ¹
SXGA+	60/75/85	1400 × 1050	1024 × 768	800 × 600	1400 × 1050 ¹
UXGA ²	48i/60/65/70/ 75/80/85	1600 × 1200	1024 × 768	-	1600 × 1200 ¹
MAC13"		640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
MAC16"		832 × 624	1024 × 768	800 × 600	832 × 624
MAC19"		1024 × 768	1024 × 768	800 × 600	1024 × 768
MAC21"		1152 × 870	1016 × 768	794 × 600	1152 × 870 ¹
TV(525i)	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
TV(625i)	50	720 × 540	1024 × 768	800 × 600	720 × 540
SDTV(525p)	60	640 × 480	1024 × 768	800 × 600	640 × 480
HDTV(750p)	60	1280 × 720	1024 × 576	800 × 450	
HDTV (1125i, 1125p)	60	1920 × 1080	1024 × 576	800 × 450	

1 仮想 (ウィンドウ) 表示

2 ELP-600 は UXGA には対応していません。

ELP-820/811 では、オプションのコンピュータケーブルを使用した場合にのみ UXGA に対応します。同梱のコンピュータケーブル使用時は対応できません。

● 「付録 オプション品一覧」 P.95

3 VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

仕様一覧

商品名	マルチメディアプロジェクター ELP-820/811/600		
モデル名	ELP-810UG/800UG/600		
外形寸法	幅 348 × 高さ 104 × 奥行き 274mm(フット含まず)		
パネルサイズ	0.9 型		
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス		
駆動方式	フルライン 12 相ブロック順次書き込み		
画素数	ELP-820/811 : XGA 786,432 個 (横 1024 × 縦 768 ドット) × 3 ELP-600 : SVGA 480,000 個 (横 800 × 縦 600 ドット) × 3		
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動 (約 1 : 1.35)		
ランプ (光源)	UHE ランプ 定格 200W 型番 : ELPLP15		
音声最大出力	5W モノラル		
スピーカ	1 個		
電源	100-120V/200-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 280W スタンバイ時 5.5W (100V 時)		
使用温度範囲	+ 5 ~ + 35 (結露しないこと)		
保存温度範囲	- 10 ~ + 60 (結露しないこと)		
質量	約 4.2kg		
接続端子	Computer 1 端子 :	1 系統	DVI-I
	Computer 2/Component Video 端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス)
	Audio 1 端子 :	1 系統	ステレオミニジャック
	Audio Out 端子 :	1 系統	ステレオミニジャック
	Video 端子 :	1 系統	RCA ピンジャック
	S-Video 端子 :	1 系統	ミニ DIN 4pin
	Audio 2 端子	1 系統	RCA ピンジャック × 2(L,R)
	Mouse 端子 :	1 系統	DIN ジャック 9pin
	USB 端子 :	2 系統	USB コネクタ (A,B タイプ)
	Control (RS-232C) 端子 :	1 系統	D-Sub 9pin(オス)
	Monitor Out 端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス)
Remote 端子 :	1 系統	ステレオミニジャック	

USB 端子は、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

ボタン

⊕ (Enter) ボタン	12
[] ボタン	12, 26
[1]/[2]/[3] (エフェクト) ボタン	12, 58
[Auto] ([自動同期]) ボタン	9, 12, 48
[A/V Mute] ([A/V ミュート]) ボタン	9, 12, 55
[Comp1] ボタン	12, 40
[Comp2/YCbCr] ボタン	12, 40
[Computer/YCbCr] ([コンピュータ / 色差]) ボタン	9, 40
[Esc] ボタン	9, 12
[E-Zoom] ボタン	12, 57, 60
[Freeze] ボタン	12, 55
[Help] ([ヘルプ]) ボタン	9, 12, 76
[Keystone] ([台形補正]) ボタン	9, 46
[Left] ボタン	12, 27
[Menu] ([メニュー]) ボタン	9, 12, 73
[P in P] ボタン	12, 60
[Power] ([電源]) ボタン	9, 12, 39
[Preset] ボタン	12
[Resize] ([リサイズ]) ボタン	9, 12, 43, 56
[Right]/[Esc] ボタン	12, 27
[Shift] ([シフト]) ボタン	9, 49, 50, 56
[S-Video] ボタン	12, 40
[Source] ボタン	12
[Sync] ([同期]) ボタン	9, 50, 73, 76
[Tracking] ([「トラッキング」]) ボタン	9, 49, 74
[Video] ([ビデオ]) ボタン	9, 40
[Volume] ([音量]) ボタン	9, 12, 51

数字・アルファベット

13w3 ケーブル	23
13w3 端子	23
5BNC 端子	22
Analog-RGB	40, 62, 63, 71
Audio1 端子	10, 24, 102
Audio2 端子	10, 24, 102
Audio Out 端子	10, 35, 102
A/V ケーブル	1, 24, 29, 30, 31, 32, 34
A/V ミュート機能	54, 69, 96
BS デジタルチューナの映像	34
Comp1 入力	69
Comp2/YCbCr 入力	69
Computer1 端子	10, 40, 102
Computer2/ Component Video 端子	10, 40, 102
Control (RS-232C) 端子	10, 100, 102
DFP	21, 96
Digital-RGB	40, 62, 63, 71
DVI	21, 96
DVI アナログケーブル	20, 32
D 端子ケーブル	34, 95
E ズーム機能	57
HDTV	56, 96
Mouse 端子	10, 26, 102
Monitor out 端子	10, 28, 102
P in P 機能	60, 68
PS/2 マウス	26
PS/2 マウスケーブル	1, 26
R/C スイッチ	12
Remote 端子	10, 96, 102
RGB 設定	70
RGB ビデオ映像	32, 40, 64, 71
SDTV	56, 96
sRGB	63, 65, 96
S-Video 端子	10, 30, 40, 102

Sync.(同期)	50,63,97
Sビデオ映像	30,64,72,96
USBケーブル	1,25,26
USB端子	10,25,26,100,102
USBマウス	26
Video映像	64,72
Video端子	10,29,40,102
YCbCr	40,64,71,96
YPbPr	40,64,71,96

アイウエオ

ア

明るさ	63,64
アスペクト比	56,96
安全にお使いいただくために	別冊

イ

色合い	64
色温度	70,97
色の濃さ	64
インジケータ	8,12,78

ウ

ウィンドウ表示	43
---------	----

エ

エアークリスタル	11
エアークリスタルの交換方法	92
エアークリスタルの掃除	88
映像サイズ	43
映像ソース	71,72
「映像」メニュー	62
エフェクト	58
「エフェクト」メニュー	67

オ

オーバーヒート	79
---------	----

オプション品	95
オペレーションインジケータ	8,78
音声入力	66
「音声」メニュー	66
温度インジケータ	8,78
音量	51,66

カ

解像度	101
外部スピーカ	35,51
外部モニター	28
各部の名称と働き	8
画質の調整	48
カラー調整	70
カラーモード	63,65

キ

機能一覧	54,62
吸気口	11

ク

クールダウン	41,80,97
--------	----------

ケ

言語	70
----	----

コ

高音	66
「高度な設定」メニュー	70
故障かなと思ったら	78
困ったときに	76
コントラスト	63,64,97
コンピュータとの接続	19
コンポーネント映像	31,97
コンボジット映像	29,97

サ

サブメニュー	62
サポートとサービスのご案内	別冊

シ

自動調整	48
シャープネス	63, 64
周波数	71
終了	41
仕様	102
使用温度範囲	102
「情報」メニュー	71

ス

ズームリング	8, 43
スクリーンサイズ	18
スタートアップスクリーン	70
スタンプ	58, 67
スピーカ	10, 24, 35
スポットライト	58, 67
スリープモード	69

セ

接続できるコンピュータ	19
接続端子	40, 102
設置方法	16
設定メニュー	60
「設定」メニュー	68
全初期化メニュー	72

ソ

操作可能距離	14
操作可能範囲	14
操作パネル	9

タ

ターゲットスコープ	57
対応解像度	101
台形にゆがむ場合の補正	46
縦キーストーン	68

チ

チェックシート	別冊
---------	----

ツ

通信ポート	70
-------	----

テ

低音	66
デジタル RGB 端子	21
電源ケーブル	1, 38
電源端子	10, 38
電池カバー	13
電池のセット	13
天吊り	16, 17, 70
天吊固定部	11

ト

同期 (Sync.)	50, 63, 97
同期極性	71
同期モード	71
投写	16, 39
投写角度	44
投写距離	18
投写サイズ	43
盗難防止用ロック	8, 97
トップメニュー	62
トラッキング	49, 63, 97

ニ

入力解像度	63, 71
入力信号	71
入力表示	69

ノ

ノイズリダクション	65
ノースIGNAL表示	68

ハ

バー	58,67
排気口	8
ハンドル	8

ヒ

ピクチャー イン ピクチャー	60,68
ビデオ機器との接続	29
ビデオ信号方式	65,72
表示位置	56,63,64
ピント	48

フ

フォーカスリング	8,48
フット調整	44
フットボタン	8
フリーズ機能	55
プリセット登録	63
フロントフット	8,11,44

ヘ

ヘルプ機能	76
-------	----

ホ

ポインタ	58,67
ポインタ移動速度	67
保証	別冊
保存温度範囲	102
本体の掃除	87

マ

マウスとの接続	26
マウスポインタ	26,27

ミ

ミニ D-Sub 15pin 端子	20
-------------------	----

メ

メニュー	62
------	----

メニューの操作	73
---------	----

ユ

「ユーザーロゴ」メニュー	69
ユーザーロゴの登録	93

エ

用語解説	96
横キーストーン	68

ラ

ランプインジケータ	8,78
ランプ点灯時間	71,72
ランプ点灯時間の初期化	71,72,91
ランプの交換時期	89
ランプの交換方法	90
ランプカバー	8,90
ランプカバー開スイッチ	8,90

リ

リア	70
リアフット	10,11
リサイズ表示	43,101
リモコン	12,13,14,26
リモコン受光部	8,10,14
リモコン発光部	12,14
リフレッシュレート	71,97

レ

レンズカバー	8
レンズの掃除	87

ワ

ワークステーション	23,95
ワイドサイズの映像	56
ワイヤレスマウス	26,27

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用するには、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、PS/2は、International Business Machine Corp.の商標または登録商標です。Macintoshは、Apple Computer Inc.の登録商標です。Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows2000は米国マイクロソフト社の商標です。EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

※なお、エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

*新家電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新家電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス棟	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス棟	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に向う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp/>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110 (ナビダイヤル) ※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

*新家電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新家電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011) 221-7911 東京(042) 585-8500 名古屋(052) 202-9532 大阪(06) 6397-4359 福岡(092) 452-3305

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-3

82202002



この取扱説明書は100%

再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インキ

を使用しています。

Printed in Japan
402520000
02.03.-8A(C05)